

# DAILY<sup>®</sup> PROGRAM

## 高校1年——英語（見本）

# 1

### 4月号の内容

いよいよ高校生活が始まり、英語学習も新たなスタートを切りました。今月は英文を作る4つの要素と5つの文型など、英文のしくみを中心に学習を進めます。しっかり学習しましょう。

文法編		
第1日	文の要素	5
第2日	5文型	14
第3日	第1文型	22
第4日	第2文型	30
第5日	第3文型	38
第6日	第4文型	46
第7日	第5文型(1)	54
第8日	第5文型(2)	62
第9日	確認テスト(1)/第1日～第4日の復習	70
第10日	確認テスト(2)/第5日～第8日の復習	74
読解編		
第11日	内容をつかむ(1)/I Would Like To Be A Writer	80
第12日	内容をつかむ(2)/Lazybones Day	88
第13日	内容をつかむ(3)/Getting Around in New York	94
第14日	内容をつかむ(4)/Dickens and his Cat	101
	今月の単語40/人間に関することば	110

TRAINING PAPER  
**DAILY PROGRAM**  
**高校1年 英語**

第1卷

**4**月号

## はじめに——英語のロジックにせまろう！

### ● Can you speak Japanese ?

私が学校以外の場所で英語を使った最初は、高3のときでした。大学入試を終え、発表を待つ間の1週間、私はやっと手にした自由を満喫するため、奈良に旅行しました。どのお寺の境内だったか忘れましたが、私は2人のアメリカ人の女の子に出会いました。そのうちの1人が、私のキャラバンシューズを見て、「そのくつで奈良を歩くの?」と、日本語で聞いてきました。英語で話しかけてくるものとばかり思っていた私はすっかりあわててしまい、「あなたは日本語が話せるのですね!」と言うつもりで、つい、Can you speak Japanese?と行ってしまいました。相手の女の子はバカにされたのだと思い、おこって行ってしまいました。You can と Can you の語順の差がいかに悲惨な結果をもたらすか、このとき私は思い知りました。

### ● I have no money !

2度目に奈良に行ったとき、今度はインド人の若者と友だちになりました。しかし、このときも私は英語で小さな失敗をしました。「君は働いているのか?」と彼に聞かれたとき、私は“No. I'm a student. I have no money!”と答えたのです。すると彼は大まじめでこう反論してきました。「君がお金を持っていないというのはうそだ。もしお金を持っていないなら、こうして旅行などできるわけがない」と。私はこのとき、英語のno という言葉の重さに気づきました。学生だからお金がない、というのはたしかに論理的でない。no には「ただの1円もない」という絶対的な響きがあったのです。

### ● さかさまロジック

こんなふうにして、私はだんだんと「生の英語」の世界に触れる機会が増えていきました。そして、英語には英語特有のロジック(論理)があることに、次第に気づいていきました。

英語のロジックにはナイフのような鋭さがあります。一刀一刀が文の意味を明確に切り出していく感じです。かんたんな文で考えてみましょう。まず文がThere で始まっていたら、「何かの存在について語るのだな」とわかります。There was と続けば、「何かがあったということだな、そしてそれは単数なのだな」とわかります。さらに There was a mistake と来れば、「ミスがあったというのか、しかし一体何にミスがあったというのか」と疑問がわきます。There was a mistake in his letter. と来れば、「彼の手紙にミスがあったのだな」と、順序正しく一件落着きます。

ところが、この文を日本語に訳すと、「彼の手紙の中にはミスが1つあった」となり、むしろ英語とは逆に、文の終わりから意味が明確に見えてくるようです。

### ● 高1のトレベ、中身は?

さて、高校の英語は3年間を通して「生の英語」に接近していきなステップです。よく「英語で考える」などと言う人がいますが、日本人のわれわれがとっさに英語で考えるのは、まず無理な注文です。それよりも、せめて「英語を考える」「英語のロジックを学ぶ」ようにしましょう。「生の英語」に接近するには、結局それが近道になります。今あなたが手にしているトレーニングペーパーは、他のどのような本にもものっていないほどいいに、「英語のロジック」について説明してあります。知識が身につくように、練習もたくさん用意してあります。トレーニングペーパーの学習を通して、英語への理解を深めていってください。なお、ペーパー学習では、残念ながら耳の訓練はできません。大学入試でも次第にヒアリングが重視されつつあります。テレビやビデオやテープなどで、気楽に英語に耳を傾けるように心がけてください。では、あなたの健闘を祈ります。

# 文法編

---



## 登場人物のSelf-introduction



はじめまして。この春、神奈川県某県立普通高校へ入学した、武者小路康成(むしやのこうじ やすなり)です。高校は県内の中堅クラスですが、入学式直前におこなわれたクラス編成のための実力テストでは、英語の成績がもっとも悪く、Cランクでした。(A~E)

母はその結果を見てひどく落胆し、嫌がるほくに、むりやり家庭教師を押しつけようとなりました。偶然とは恐ろしいもので、たまたま母の遠縁にあたる人が、神奈川県にある某国立大学に入学するために、下宿を探している矢先でした。〔部屋代+食事-家庭教師料=0〕という等式が相手をひどく魅了したらしく、話は一発で決まりました。

ぼくは女子学生であってほしいと願っていたのですが、ふとん袋といっしょに現れたその人は、30過ぎのむさくるしいおじさんでした。

聞くところによれば、彼はこの3月まで愛媛県の松山市で高校の英語教師をしていたのですが、突如、哲学への向学心がわき、自分の母校へ学士入学をしたということです。つき合っていくうちに、彼がかなりユニークな英語教師であったことがわかってきました。

とにかく教授法が顔に負けにくいらい愉快なのです。そして、わかりやすいのです。

トレペ文法編の筆者は、そんな彼の噂をどこから聞き及んだものか、彼の家庭教師ぶりを収録しておいてほしいとぼくに頭を下げ、カセットデッキとテープを預けてきました。

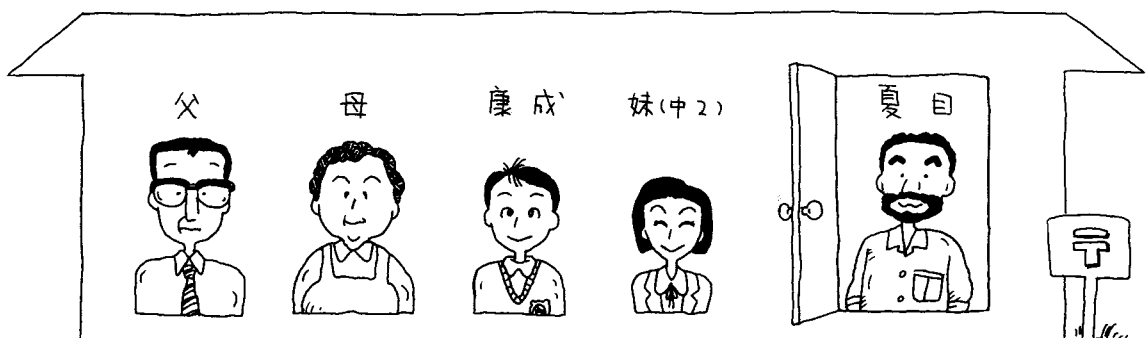
たぶん、これからしばらくは、ぼくと、そのおじさんの掛け合いが、トレペの誌上で展開していくのではないかと思います。



夏目鱒二(なつめ ますじ)。34歳。独身。血液型O型。水瓶座。趣味は俳句。

武者小路家に同居して、康成君に1か月に8日間、1日1時間~1時間半の割で英語を教えています。言っておきますが、ぼくも康成君も実在の人物ではありませんから、くれぐれもファンレターは出さないようにお願いします。

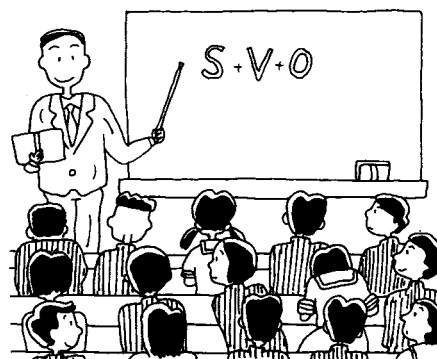
### “武者小路家の人々”



# 文の要素

## 第1日 — 文の要素；S，V，O，C —

(N)：どう？ 学校の授業にもなれた？  
 (Y)：うんにゃ。英語の授業の進み方が速くって。  
 N：授業数も増えただろ？  
 Y：その上、先生の口から、「これが補語で…」「こっちが目的語になってー」とか、そういうことばがポンポン飛び出してくる。ポーッとしていると、わけがわからない。  
 N：情けないことを言うんじゃないよ。そういう場合は、このおじさんにまかせなさい。



きょうは、高校の英語の授業に少し戸惑いを感じている君に、文の要素について楽しく説明してあげよう。

1つの文というのは、いふなれば、1つの家族みたいなものなんだ。

1家族が夫や妻や子どもたちから構成されているように、1つの文も主語、動詞、補語、目的語、といったメンバー(要素)から成り立っているんだよ。



Y：おじさんみたいな、居候いそうろうが住んでいたらどうなるの？

N：居候は修飾語さ。修飾語については、3日めにゆっくりと話そうじゃないか。

それじゃあ、メンバーを左から順に紹介していこう。

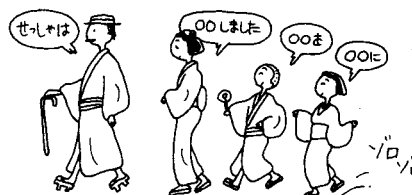
**主語(S)** …… 文のトップバッターであり、主人公である。「～は」「～が」と訳される。

主語に続く語はすべて、主語について語るために存在する。

\* Sは subject(主語)の頭文字



になれるのは、名詞、代名詞のほか、名詞相当の語句、節である。



【例題 1】 次の文の空所に単語や語句を入れて、文を完成させなさい。

1 \_\_\_\_\_ can speak Japanese well. (マイクはじょうずに日本語を話せる)

2 \_\_\_\_\_ are good friends. (私たちは仲良しです)

3 \_\_\_\_\_ is a lot of fun. (テニスをするのはとても楽しい)

4 \_\_\_\_\_ collects coins? (だれがコインを集めていますか)

5 “\_\_\_\_\_” was all he said.

(「ありがとう」が彼の言ったすべてであった。→ 彼は「ありがとう」としか言わなかった)

解答 1 Mike 2 We 3 Playing tennis または  
To play tennis 4 Who 5 Thank you

N : 今、君が \_\_\_\_\_ に入れた語句が主語なんだ。

Y : 確かに、1 は名詞、2 は代名詞、3 は動名詞、または、名詞用法の不定詞、4 は代名詞となっている。名詞と名がつけば、名詞と同じはたらきができるんだね。5 は……。

N : 5 は引用句だが、文の中では名詞として扱うことができるんだ。

■ 4 は疑問文を作る代名詞、すなわち、疑問代名詞である。

## トレーニング

1 次の文を和訳し、主語に \_\_\_\_\_ を引きなさい。

(1) In Japan we have much rain in June.

.....

(2) Which do you like better, summer or winter?

.....

(3) Which hat is yours? — This one is.

.....

(4) Washing cars is interesting for me.

.....

(5) “Beat It” is my favorite song.

.....

▶ “Beat It” 「ビート・イット」(マイケル・ジャクソンの歌の名前) favorite 「お気に入りの」

2 左側の主語に続く語句を右側から選び、( ) にその記号を書き入れなさい。

(1) What to do next ( )

a) is a good exercise.

(2) Walking ( )

b) must be kind to old people.

(3) Mr. and Mrs. Taki ( )

c) often take me to the show.

(4) Young people ( )

d) is the most important for us.

Y：今度は、妻(V)の番だね。

**述語動詞(V)** …… 主語のすること、なすこと、または状態を述べる語。 \*Vはverb(動詞)の頭文字



になれるのは、動詞だけである。  
 以後、述語動詞のことをたんに動詞と呼ぶ。



N：あしたから、たっぷりやりますんで。はい。

【例題2】 次の文を和訳し、動詞に\_\_\_を引きなさい。

1 He is a student.

.....

2 Lucy went to the store yesterday.

.....

3 He must work late tonight.

.....

4 Get up, Bob.

.....

5 She is singing now.

.....

Y：1は、「彼は学生です」で is。2は、「ルーシーはきのうその店へ行った」で went。簡単！ 3は、「彼は今夜遅くまで働かなければならない」。workがVってことは、確かだな。mustは、助動詞なんだけど、Vの中に入れていいのかな。

N：助動詞はどうするかって？ 助動詞は動詞のアシスタントみたいなものだから、Vとして扱っていいよ。

Y：じゃあ、3は must work。

4は、「起きろ、ボブ」。命令文では主語が省略されて動詞から始まるんだよね。主人(S)が出張中ってところかな。答えは、Get。

N：Getだけでは「起きろ」にならないぞ。

Y：じゃあ、4は Get up。

5は、「彼女は今歌っています」。これは、isでいいのかな。それとも、singingになるのかな。

N：進行形では、〈be + ~ing〉を、ひとまとめにして動詞として扱うんだ。

受動態の〈be + 過去分詞〉や完了形の〈have + 過去分詞〉も同じだよ。

Y：じゃあ、5は is singing。





トレーニング

③ 次の文から主語と動詞を見つけ出し、それぞれに\_\_\_\_を引いて指摘しなさい。

- (1) During the summer holidays, we visited Canada.
- (2) Take off your hat in the house.
- (3) My aunt sent us Christmas presents. ▶ Christmas「クリスマス」 present「プレゼント」
- (4) Don't be noisy in the hospital. ▶ noisy「騒がしい」 hospital「病院」
- (5) Those white shoes will suit her. ▶ suit「似合う」
- (6) My mother is making supper now. ▶ supper「夕食」
- (7) English is spoken in Australia.
- (8) What beautiful pictures he has painted!

Y : 3番手は娘(C)かな。

**補語(C)** …… 文を完全なものにするために補う語。

\*Cは complement (補語)の頭文字

I am a teacher. や I think him a teacher. から a teacher をとると、「私は、である」「私は彼を、と思う」となり、わけのわからない文になる。そこで活躍するのが補語。これらの文では、a teacher が、それである。日本語の上では、「なに」「どう」にあたり、主語や目的語とイコールで結べるのが特徴。



になれるのは、名詞、代名詞、形容詞のほか、名詞相当の句などである。

【例題3】 次の文の空所に単語や語句を入れて、文を完成させなさい。

- 1 Michael Jackson is a great \_\_\_\_\_.  
(マイケル・ジャクソンは偉大なアーティストである)
- 2 He is more \_\_\_\_\_ than Billy Joel.  
(彼はビリー・ジョエルよりも有名である)
- 3 That's \_\_\_\_\_.  
(そのとおりだ)
- 4 I think him \_\_\_\_\_.  
(私は彼をチャームングだと思う)
- 5 My dream is \_\_\_\_\_.  
(私の夢は彼と一緒に踊ることです)



解答 1 artist 2 famous 3 it(rightでもよい) 4 charming  
5 dancing with him または to dance with him

N：今、君が入れたのが補語なんだ。品詞を確認してごらん。

Y：1 名詞, 2 形容詞, 3 代名詞(rightの場合は形容詞), 4 形容詞, 5 動名詞, または不定詞の名詞用法。

N：いいね。それから, 4は「彼(目的語)」=「チャーミング(補語)」となっているが, ほかは主語=補語の関係になっていることもわかったかな。

## トレーニング

4 次の文から補語を見つけ出し, \_\_\_\_を引いて指摘しなさい。

- (1) He is a doctor.
- (2) Alice looks happier than before.
- (3) All these records are mine.
- (4) My hobby is collecting foreign stamps. ▶ foreign「外国の」
- (5) The leaves turned red. ▶ leaves:leaf「葉」の複数形
- (6) His friends called him Bill.

5 次の文から主語と動詞と補語を見つけ出し, それぞれに\_\_\_\_を引いて指摘しなさい。

- (1) It has been cold for a few days.
- (2) My greatest pleasure is traveling. ▶ pleasure「楽しみ」
- (3) Getting up early is good for the health. ▶ health「健康」
- (4) To stay up late every day is bad for your health.

6 [ ]の部分は補語にあたります。日本語の意味にあうように, 正しい語句を選びなさい。

- (1) He is [ slow, slowly ] in reading books.  
(彼は本を読むのが遅い)
- (2) That slope looked [ gentle, gently ].  
(その斜面はゆるやかに見えた)
- (3) The boy wants to be [ a doctor, the doctor, doctors ].  
(その少年は医者になりたいがっている)

Y：いよいよ, 息子(O)の登場だね。

N：そういえば, 君もこの家の大切な跡取り息子だったよな。

**目的語(O)** …… 他動詞のはたらきかけの対象となる語。 \*Oは object (目的語)の頭文字

I know the boy. から the boy をとると、「私は知っている」となり、ついつい、「だれを?」「何を?」と聞きたくなってしまう。そこで登場するのが目的語。この文では the boy である。日本語では、「何を/だれを」や「何に/だれに」にあたる。



になれるのは、名詞、代名詞のほか、名詞相当の句や節である。

**【例題 4】** 次の文の空所に単語や語句を入れて、文を完成させなさい。

- 1 Do you like \_\_\_\_\_ ?  
(あなたは子どもが好きですか)
- 2 She gave \_\_\_\_\_ .  
(彼女は私に彼女の人形をくれた)
- 3 I want \_\_\_\_\_ .  
(私は彼女に会いたい)
- 4 Stop \_\_\_\_\_ .  
(テレビを見るのをやめなさい)
- 5 I think \_\_\_\_\_ .  
(私は、彼は親切だと思う)
- 6 I don't know \_\_\_\_\_ .  
(私はどこへ行くべきかわからない)

解答 1 children 2 me, her doll 3 to see her 4 watching TV  
5 (that) he is kind 6 where to go

N: 君が今\_\_\_に入れた語、句、節はみんな目的語なんだよ。品詞の確認をしてみるといい。

Y: へえー。こういう文は、中学で習ったけれど、目的語だなんて意識したことがなかったなあ。もしわかっていたら、ずいぶん日本語に訳しやすかっただろうなって思うよ。

- 1 は名詞。
- 2 は代名詞と名詞。
- 3 は名詞用法の不定詞。
- 4 は動名詞。
- 5 は……。
- 6 は疑問詞＋不定詞。

N: 5 は名詞節というんだ。

名詞のはたらきをする節(主語と動詞を含む語句のかたまりのこと)だからね。

Y: みーんな名詞の仲間だ!



## トレーニング

7 次の文から目的語を見つけ出し、\_\_\_を引いて指摘しなさい。さらに全文を日本語に直しなさい。

(1) A week has seven days.

.....

(2) I hope to travel around the world. ▶ travel 「旅行する」

.....

(3) We enjoyed swimming last summer.

.....

(4) I know that he is honest. ▶ honest 「正直な」

.....

8 左側には主語から動詞まで、右側には目的語が並んでいます。左右を組み合わせて、文が通じるようにしなさい。

(1) I have just finished ( ) a) to go to Europe. ▶ Europe 「ヨーロッパ」

(2) He told ( ) b) how to drive.

(3) I can understand ( ) c) writing my report. ▶ report 「報告書」

(4) He wishes ( ) d) that he was kind.

(5) I thought ( ) e) me an interesting story.

N：全問正解だったかい。できなかったところは、原因をさぐってみるといい。

ではいよいよ、きょうのまとめのトレーニングに取りかかろう。

## まとめのトレーニング

1 次の文の主語と動詞を見つけ出し、\_\_\_を引いてそれぞれを指摘しなさい。

(1) A big box of oranges suddenly dropped on his foot. ▶ suddenly 「突然」

(2) At that time my family and I lived in Osaka.

(3) Writing letters in English is difficult for me.

(4) Kumi and Yoshiko went to the park as soon as school was over.

▶ as soon as ~ 「～するとすぐ」

2 次の文の補語を見つけ出し、\_\_\_を引いて指摘しなさい。

(1) My mother is busy in the kitchen now.

(2) It became warm after the rain.

(3) Keep quiet during the concert. ▶ concert 「コンサート」

(4) Giving up smoking is very difficult for some people.

③ 次の文の目的語を見つけ出し、\_\_\_\_を引いてそれぞれを指摘しなさい。

- (1) I have dark hair and brown eyes.
- (2) He read a lot of books and knew many things.
- (3) I want to be an English teacher.
- (4) I don't know what to speak about at the party.

④ 次の文を和訳し、主語、動詞、補語、目的語に\_\_\_\_を引いてそれぞれを指摘しなさい。

(1) The old man still has a slight pain in his arm.

▶ slight 「わずかな, 少しの」 pain 「痛み」 arm 「腕」

.....  
(2) I stayed in Kyoto for two weeks and visited many interesting places.

.....  
(3) She looked much happier and better than before.

.....  
(4) After dinner I watch TV, and then I study for three hours.

.....  
(5) She was very busy and I helped her with her work.

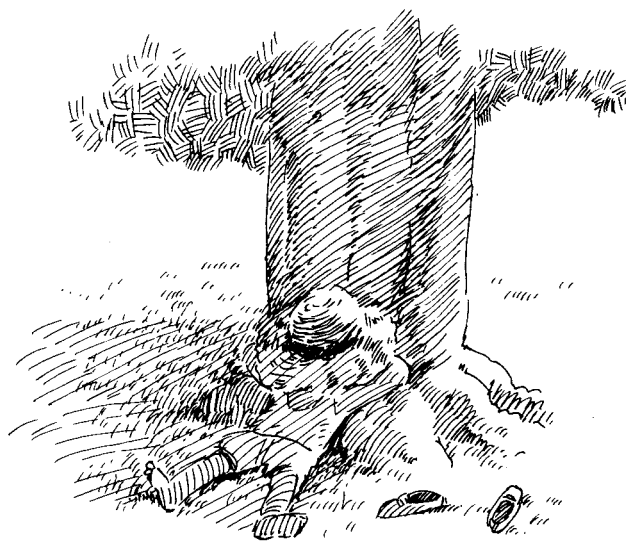
.....  
(6) At first no one helped them, but soon some of the students began to help.

## まとめと予告編

きょうはこれでおしまいです。どうですか。文を構成しているメンバーの名前と特徴がつかめたでしょうか。

あしたは、5文型にはいります。5種類のモデルタイプの家庭を紹介しながら、それぞれの中で妻(動詞)がどのような立場にあるのかをさぐっていきます。もちろん、どの家も家族総出演ですから、乞う御期待！

MEMO



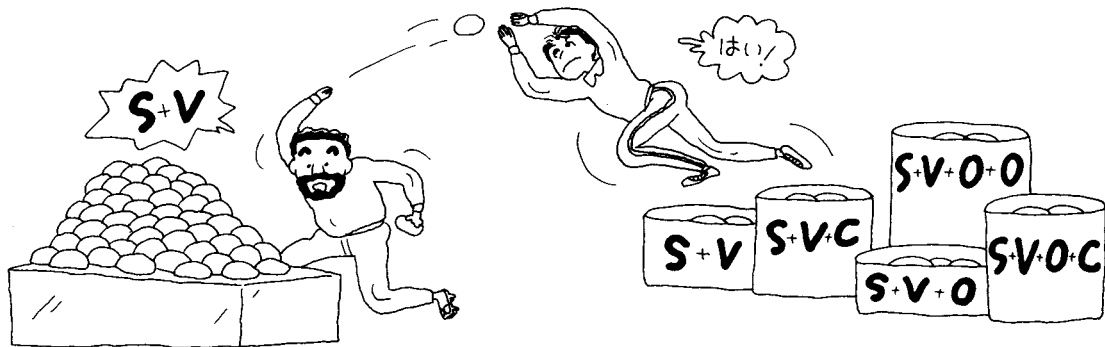
# 5 文型

## 第2日 — すべての英文は5つの文型にわかれる —

(Y) : 英文法の参考書って、たいてい5文型で始まってんだけど、何か意図があるわけ？

(N) : どんなに複雑に見える文も、飾り(修飾語)をとってしまえば、必ず5つの型に分類できるということを、君たちに知らせたいのさ。

2年生、3年生と進むにつれ、頭をかかえこむような英訳や和訳にぶつかるかもしれないだろ。そんなときに、「落ちつくんだ！ いま君の目の前にある文は、5文型のうちのどれかにあたるんだよ。まず見分けてごらん。さて、訳し方はどうだった？ 単語の並び方はどうだった？」と、この分野で学んだことが君たちに後々まで解決の糸口を与えてくれるんだ。



たとえば、この英文さ。和訳せよと言われたら、高3の受験生でも音をあげそうだろう。

Even those who do not become wide readers will discover that there are many kinds of books and stories from which to select the ones that interest them.

(大阪府立大)

Y : ヒャー、なにこれ？

N : ところが、この文がどの文型にあてはまるか見分けることができれば、日本語に訳すのも、それほど苦ではなくなるんだ。(和訳は解答編。ただし、今は訳せなくても気にしないこと！)

Y : どんなふうに分類されているの？

N : きおう、1つの文は1つの家族みたいなものだ、教えてだろ？ すべての英文はそれを構成している要素(メンバー)によって、5つのタイプに分けることができるんだ。1つの文を1家族に見立てて、5種類に分類してみよう。

— ちょっと、ひとこと —

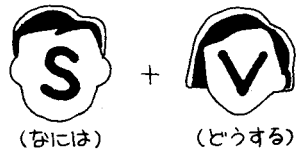
英文は、2~4人の核家族

★1つの文型ごとに、例文が2つずつあります。①にならって、②の( )にS, V, O, Cの文字を書き込みながら読み進めなさい。第4, 第5文型も同様。

S = 主語 → 主人 (なには)      V = 動詞 → 妻 (どうする)  
 C = 補語 → 娘 (なに/どう)  
 O = 目的語 → 息子 (なにを/なにに)  
 下線のない部分 = 修飾語 → 居候 (いそうろう)

第1～第3文型

Iのタイプ  
(第1文型)



例 ① Birds fly. (鳥は飛ぶ)  
 S V

② Tom can run fastest of all. (トムは全員の中でいちばん速く走れる)  
 ( ) ( )

これはもっとも簡単な文型で、主語と動詞があればよい。

IIのタイプ  
(第2文型)



例 ① He is a scholar. (彼は学者だ)  
 S V C

② You look young. (あなたは若く見える)  
 ( ) ( ) ( )

主語+動詞の次に、補語がくる文型。これらの文から補語をのぞくと(ためしに指でCを隠してごらん)、不完全な文になってしまう。ここのisやlookには、補語の補助が必要なのだ。また、この文型の補語は主語と等しいものを表しているのだから、“S=C”になる。(He = a scholar, You = young)

IIIのタイプ  
(第3文型)



例 ① She loves her son. (彼女は息子を愛している)  
 S V O

② Carpenters build houses. (大工は家を建てる)  
 ( ) ( ) ( )

主語+動詞の次に、動詞の動作を受ける目的語がくる文型。loveやbuildという行為は、それを受けてくれる相手(O)がなくては、できない行為である。他者に行為を及ぼす動詞を、他動詞という。



N：第1文型から第3文型までを練習してみよう。

【例題1】 次の文の\_\_\_の所は、主語、補語、目的語、修飾語のいずれであるか指摘し、文型を言いなさい。

- |   |                                       |    |     |
|---|---------------------------------------|----|-----|
| 1 | Mary sings <u>well</u> .              | (第 | 文型) |
| 2 | He became <u>a famous actor</u> .     | (第 | 文型) |
| 3 | The boy is making <u>a doghouse</u> . | (第 | 文型) |

N：日本語に訳してから、「なには」「なに／どう」「なにを」のどれにあたるか考えてみるといい。「なには」にあたれば主語。「なに／どう」にあたれば補語。「なにを」にあたれば目的語。また、補語と目的語の区別は、主語とイコールで結べるかどうかで、判断すればいい。それから、あってもなくても、文の成り立ちに支障をきたさないようなものが修飾語だ。

Y：ふーん。1は「メリーはじょうずに歌う」。wellがなくても、「メリーは歌う」で、文は成り立っている！ S+Vだから……

1は修飾語、第1文型。

2は「彼は有名な俳優になった」。えーと、「俳優は」ではないから主語じゃない。「俳優を」でもないから、目的語ではなさそうだ。補語かな？ He = a famous actor。うん、言える。S+V+Cだから……

2は補語、第2文型。

N：いいぞ、いいぞ。

Y：3は「その少年は犬小屋を作っている」。「～を」だから……

3は目的語、第3文型。

N：パーフェクト!!

3つの文の構造を、ここに示しておこう。

次はトレーニングにはいるけど、きちんと文の意味を考えてやること。わからなかったら、例題でやったやり方をあてはめてみたらいい。

③ができれば、合格だ。

Mary sings <u>well</u> .	.....	第1文型
S	V	修飾語
He became <u>a famous actor</u> .	.....	第2文型
S	V	C
The boy is making <u>a doghouse</u> .	...	第3文型
S	V	O

## トレーニング

1 次の文の\_\_\_の所は、S(主語)、V(動詞)、O(目的語)、C(補語)のいずれであるか指摘し、さらに文型を言いなさい。下線のない所は修飾語です。

- |     |  |    |     |
|-----|--|----|-----|
| (1) | <u>She</u> is beautiful .                                | (第 | 文型) |
|     | ( ) ( ) ( )  |    |     |
| (2) | The telephone on his desk <u>rang</u> .                  | (第 | 文型) |
|     | ( ) ( )  |    |     |
| (3) | I know the boy very well.                                | (第 | 文型) |
|     | ( ) ( ) ( )  |    |     |
| (4) | You and your cousin are college students. ▶ cousin 「いとこ」 | (第 | 文型) |
|     | ( ) ( ) ( )  |    |     |

- (5) His hobby is collecting stamps. ▶ hobby「趣味」  
 ( ) ( ) ( ) (第 文型)
- (6) The teacher will come soon.  
 ( ) ( ) (第 文型)
- (7) They sometimes play tennis here.  
 ( ) ( ) ( ) (第 文型)
- (8) He got angry at my words. ▶ get angry「怒る」 word「ことば」  
 ( ) ( ) ( ) (第 文型)
- (9) I have been in Osaka since last year.  
 ( ) ( ) (第 文型)
- (10) The grass grew tall soon in summer. ▶ grass「草」  
 ( ) ( ) ( ) (第 文型)
- (11) In the area, cold north winds blow all day long. ▶ all day long「1日中」  
 ( ) ( ) (第 文型)

2 次の英文を、第1文型～第3文型に分類しなさい。

- a) Monday comes after Sunday.  
 b) The boy is making a model plane now.  
 c) Is this problem difficult to solve? ▶ problem「問題」 solve「解く」  
 d) She became a great writer.  
 e) We were at Miyuki's house last night.  
 f) This coffee seems too hot for me.
- (1) 第1文型の文 ( )  
 (2) 第2文型の文 ( )  
 (3) 第3文型の文 ( )

3 次の各組には、それぞれ1つずつ文型のちがうものがある。その文の記号を示しなさい。

- (1) a) He became a teacher. (彼は先生になった)  
 b) Lucy plays the guitar. (ルーシーはギターをひく)  
 c) We are not students. (私たちは学生ではない)
- (2) a) Don't stand up. (立ってはいけない)  
 b) Do you have any friends? (あなたには友だちがいますか)  
 c) She is walking along the street. (彼女は通りを歩いている)
- (3) a) I bought this bicycle last year. (私は去年この自転車を買った)  
 b) That woman looks younger than you.  
 (あの女の人はあなたより若く見える)  
 c) Have you ever climbed Mt. Fuji?  
 (今までに富士山に登ったことがありますか)

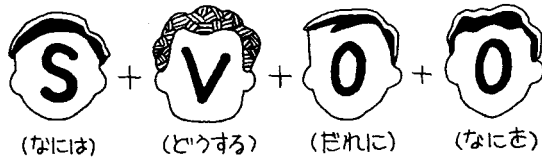


■ 命令文は、主語を補って考える。すなわち、(2)a)は You don't stand up. から判断するとよい。

N：第1～3文型はもう完璧だね。次に第4，第5文型をやろう。これらは4人家族だ。

第4～第5文型

IVのタイプ  
(第4文型)

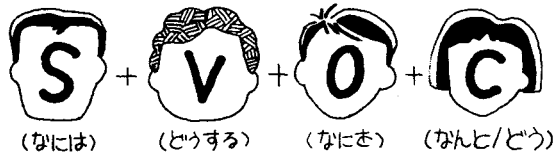


例 ① He gave me a watch yesterday. (彼はきのう私に時計をくれた)  
S V O O

② I will make you cookies. (あなたにクッキーを作ってください)  
( ) ( ) ( ) ( )

主語+動詞の次に，目的語が2つくる文型。「だれだれに～を…する」という形になる。「だれだれに」にあたる語を間接目的語といい，「～を」にあたる語を直接目的語という。

Vのタイプ  
(第5文型)



例 ① They called him Ben. (彼らは彼をベンと呼んだ)  
S V O C

② I named the dog Shiro. (私はその犬をシロと名づけた)  
( ) ( ) ( ) ( )

主語+動詞の次に，目的語と補語がくる文型。この動詞は，目的語こそ，もつことができるが，目的語を説明する補語の助けがなければ，文を完全なものにすることができない。また，目的語と補語のあいだには，“O=C”の関係が成り立つ。(him = Ben, the dog = Shiro)

N：第4文型と第5文型がすんだところで，両者の区別ができるかどうか，ためしてやろう。

【例題2】 次の文の\_\_\_の所は，目的語，補語のいずれであるか指摘し，文型を言いなさい。

- 1 She sent me a beautiful post card. (第 文型)
- 2 We call him Little Michael. (第 文型)

Y：1は「彼女はぼくにきれいな葉書を送ってくれた」。ぼく＝葉書？

このイコールは成立しないから， 1は目的語，第4文型。

N：「葉書を」の「を」からでも，わかるだろ。

Y：2は「私たちは彼をリトル・マイケルと呼ぶ」。ふむ。訳すだけじゃわからないな。彼＝リトル・マイケル。言えてる！

2は補語，第5文型。

N：全問正解。見かけより賢いんだな。

Y：おじさん，これで5つの文型を全部やったことになるんだけど，英文には，[姉と妹]，[姉と弟]という組み合わせの文は，ないんだね。

Y：そうなんだ。S+V+C+CやS+V+C+Oという形はないんだよ。





結局、動詞の性格によって、文型が決まってくるというわけだ。

ここで動詞と文型の関係を、ひとまず表にしてみるが、この内容はこれから少しずつ覚えていけばいいからね。

動詞の種類		文 型	動詞の一例
動 詞	自動詞	I S + V	be, go, call, make
		II S + V + C	be, look, become, make
動 詞	他動詞	III S + V + O	like, get, call, make
		IV S + V + O + O	make, give, tell, show
		V S + V + O + C	call, name, make, find

さて、いよいよ5文型のまとめのトレーニングにはいるぞ。

文の要素や文型を判別する問題に出くわしたら、日本語に訳してから、日本語にそって「なには」「どうする」「なにを」……というように区切っていくといい。補語と目的語の区別ができなかったら、主語やもう1つの目的語とイコールで結べるかどうかで判断するといいいががんばれよ！

### ==== まとめのトレーニング =====

① 次の各文の S, V, O, C を指摘し、何文型か言いなさい。

例 About a week ago I read an interesting letter in the newspaper.

S V O

(第 3 文型)

■ letter だけに線を引いても正解。

(1) School opens at eight o'clock.

(第 文型)

(2) On August 19 Masao brought Nancy to our house.

(第 文型)

(3) Last Wednesday I had dinner with my uncle's family.

(第 文型)

(4) A week later Yukiko was on the plane for Hokkaido. ▶ for Hokkaido 「北海道行きの」

(第 文型)

(5) What did you watch on TV?

(第 文型)

(6) What do you call this flower in English?

(第 文型)

② 次の各組には、それぞれ1つずつ文型のちがうものがある。その文の記号を示しなさい。

(1) a) My mother gets up early in the morning.

b) He looks well today.

c) Michael Jackson dances well.

( )

(2) a) I found this book easily.

b) He returned yesterday.

c) Take my sister to that store, please.

( )

- (3) a) Why do they call it the Silence Museum?  
 b) Will you please tell me the way to the Peace Park?  
 c) May I ask you a question? ( )

③ 次の各文と同じ文型の文を、下の a～e の中から選びなさい。

- (1) My father works in a bank. ( )  
 (2) She became a doctor in Africa. ( )  
 (3) We call the clock "Big Ben." ( )  
 (4) I like music and history very much. ( )  
 (5) I can lend you some money tomorrow. ( )  
 a) My brother is studying English now.  
 b) Will you tell me the way to the station?  
 c) I usually go to school by bus.  
 d) The family named the baby Anne.  
 e) How small your pet is! ▶ pet 「ペット」 ■ Your pet is very small. から考えよ。

④ 次の文の S, V, O, C を指摘し、さらに日本語に訳しなさい。

- (1) My good friends living near my house often come to my home together.

訳) .....

- (2) Some artists in the 16th century used beautiful glass to make church windows.

訳) .....

▶ artist 「芸術家」 the 16th century 「16世紀」 glass 「ガラス」



### まとめと予告編

きょうは、動詞、目的語、補語、修飾語といった文法用語がたくさん出てきたので、「もうクタクタ」というところではありませんか。

私たちは、解説の便宜をはかるために使っているまでですから、皆さんはむりに覚え込まなくてもよいのです。きょうのところは、すべての英文は5文型に分類できるということ、そして、どうやら動詞の性格によって文型が決まるらしいということ、頭にきざんでおいてください。

あしたからは、各文型を1つずつ取り上げて、さらに深く学んでいきます。今晚あたり、あなたはあなたの家族の夢を見るのでは？ おやすみなさい。

# 第 1 文型と修飾語

第 3 日

—— 夫婦と居候<sup>いそうろう</sup> ——

(Y): おじさん。隣の山口さんち、今度、下宿人が来るんだって。山口さんちのお婆さん、喜んでたよ。

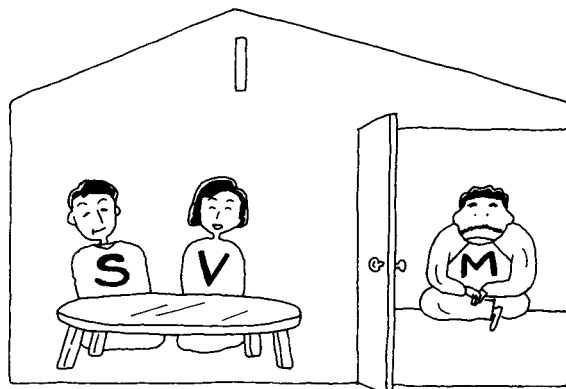
(N): 下宿人とか居候は、どんなタイプの家にも住み込めるが、あそこは夫婦 2 人暮らしだったし、下宿人が男性なら、なおさら喜んでいるだろうな。

\* \* \* \*

N: じゃあ、きょうは、

第 1 文型の文と、そこに加わった、動詞を修飾する修飾語について、話を進めよう。

だが、その前に、修飾語とは、そもそも何者であるのか、その正体を明かす必要がある。



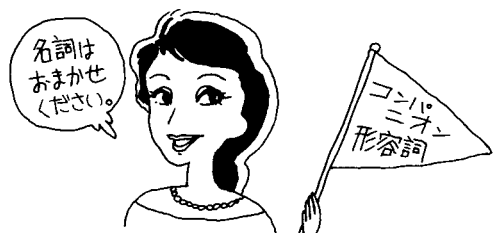
**修飾語(M)** …… S, V, O, Cが、文型によっては不可欠な要素になるのに対して、修飾語とは、文中にあってもなくてもよい部分である。しかし、S, V, O, Cのいずれに対しても引き立て役になれるパワーと、どんな文型にも加わることのできるたくましさを持っている。

\*Mは modifier (修飾語)の頭文字

★修飾語は、引き立てる相手によって二派に分けられる。



になる名詞は、**形容詞派**が引き立てる。



例 that tall boy  
形 | 形 | 名




は、**副詞派**が引き立てる。



副詞はまた、自分以外の副詞を引き立てることもできる。例 very much  
副 | 副

N：きょうは，その中で，副詞派が動詞の修飾語になる場合を取り上げる。

★動詞の  になれるのは，・副詞  
・副詞句 である。

■ 副詞句には，副詞用法の不定詞，前置詞+(代)名詞などがある。

【例題1】 ( )に適切な語句を入れ，次の文を完成させなさい。また，各文は何文型か言いなさい。

- |   |  |         |          |
|---|--|---------|----------|
| 1 | He is reading a magazine ( ) .<br>(彼は今雑誌を読んでいる)        | 第 _____ | 文型 _____ |
| 2 | Michael is dancing ( ) ( ) .<br>(マイケルはステージの上で激しく踊っている) | 第 _____ | 文型 _____ |
| 3 | She didn't come ( ) .<br>(彼女は3時までに来なかった)               | 第 _____ | 文型 _____ |
| 4 | I went ( ) ( ) .<br>(私はカメラを買いにその店に行った)                 | 第 _____ | 文型 _____ |

解答 1 now 第3文型 2 hard, on the stage 第1文型

3 by three o'clock 第1文型 4 to the store, to buy a camera 第1文型

N：何文型かの判断は，( )を削除してやればいい，と気づいたかい？ なぜなら，今君が( )に入れたものは，すべて副詞か副詞のはたらきをする語句で，修飾語だからさ。修飾語は，文を成り立たせるためには，なくてもよい部分だから，まずその部分を除いてしまえば，文型を判断しやすくなる，というわけさ。

Y：now や hard が副詞であるとか，to buy a camera が副詞用法の不定詞であるってことは知っていたんだけど，ほかにもいろいろあったんだね。

N：いずれにしても，( )に入れた部分が動詞を修飾していることは，わかっただろ？

Y：うーん，まあね。(自信がない) でも，2はよくわかるよ。

(激しく) → 踊る

(ステージの上で) → 踊る

N：今度は，それを英文でやってごらん。





トレーニング

1 例題1で( )に入れた語句は、どの部分を修飾していますか。英文に\_\_\_を引きなさい。

- (1) He is reading a magazine ( now ).
- (2) Michael is dancing ( hard ) ( on the stage ).
- (3) She didn't come ( by three o'clock ).
- (4) I went ( to the store ) ( to buy a camera ).

2 次の文で、動詞の修飾語になっている部分を( )に入れなさい。また、各文は何文型か言いなさい。

- (1) When did you arrive here? 第 \_\_\_\_\_ 文型 \_\_\_\_\_
- (2) My father bought me a bicycle last year. 第 \_\_\_\_\_ 文型 \_\_\_\_\_
- (3) The boy was crying in the living room. 第 \_\_\_\_\_ 文型 \_\_\_\_\_
- (4) I can't go out because of the rain. ▶ go out「外出する」 第 \_\_\_\_\_ 文型 \_\_\_\_\_
- (5) My sister went to America to study English. 第 \_\_\_\_\_ 文型 \_\_\_\_\_

N：今度は、SやCやOと、修飾語(M)との区別ができるかどうか、ためしてあげよう。いいかい、仮にその部分がなくなっても、文は成り立つと思われたら、それが修飾語なんだよ。

3 次の文を和訳し、\_\_\_が主語(S)、補語(C)、目的語(O)、修飾語(M)のいずれかであることを指摘しなさい。

- (1) Yesterday was Sunday. ( \_\_\_\_\_ )  
.....
- (2) He left for London yesterday. ( \_\_\_\_\_ )  
.....
- (3) He sings very well. ( \_\_\_\_\_ )  
.....
- (4) He looks very well. ( \_\_\_\_\_ )  
.....
- (5) We can see a small hill. ▶ hill「丘」 ( \_\_\_\_\_ )  
.....
- (6) Our school stands on a small hill. ( \_\_\_\_\_ )  
.....



N：いいぞ、その調子だ。

じゃあ、同じような内容の問題を、もう少し続けてみよう。



Y: ぼくは、「～があります」という文を英語で書こうとすると、どうしても、There is ～. や There are ～. と書いてしまいそうな気がするんだけど、トレーニング4の(3)は、

There is your dictionary under the table.

ではまちがいになるわけ？

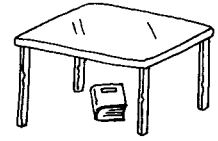
N: まちがだよ。この文の主語はどれだと思う？

Y: There, ……じゃないよね。うーんと、your dictionary かな？

N: そうなんだ。your dictionary というのは、a dictionary とはちがって、特定のものだろう？

There (be) を使って存在を表すことができるのは、主語が不特定なものの場合に限るのさ。なぜなら、There とは、「これから、あるものの存在をあなたに伝えますよ」という、前置きのよ様なことばなんだ。まだ、相手は、それが何なのかわかっていないことになる。そこへ、特定なものを主語として置くのは、おかしいじゃないか。

また、表現を変えれば、主語が特定なものの場合には、There (be) は使えないことになる。



— ちょっと、ひとこと —

There is a dictionary under the table.

M(副) V S M(副)

2つのMは、ともに is を修飾。

## ==== トレーニング =====

5 There (be) の使い方に注意して、次の文に誤りがあれば訂正しなさい。

(1) There is my brother in the park.

.....

(2) There are two boys there.

.....

(3) There are no flowers in the vase. ▶ vase 「花びん」

.....

(4) There is the famous artist next to you.

.....

N: 不特定なものの存在を表すには、There (be) のほかに、このようなものもあるんだ。

There lived an old woman in the town. (その町に1人の老女が住んでいた)

M V S M

There broke out a big fire near here. (この近くで大火事があった)

M V S M

There remained little money in my pocket. (ポケットにはわずかなお金しか残って

M V S M いなかった)

Y: There のうしろが be 動詞じゃないなんて、見なれない文だね。でも、覚えておこうっと！

Y：ところでおじさん、ぼくは There ～ の文が出てきたときから、ずっと気になっていたんだけど。 **M+V+S** って、どういうことよ。文の順序が、まるででたらめじゃない。

N：君でも気がついたかい。ところが、これが、でたらめじゃないんだなあ。ちゃんとしたルールがあるんだ。次の2つの文を見くらべてみたまえ。

- ① A big rock fell down. (大きな岩が落ちてきた)  
           S        V        M
- ② Down fell a big rock. (大きな岩が落ちてきた)  
           M        V        S

順番決めは、



岩の落下した様子が強く印象に残るのは、どちらの文かな？



Y：そりゃあ、②のほうだな。Down が最初に目や耳に飛び込むから、上から下へ向かって岩が落ちてきた様子が、ありありと伝わってくるよ。

N：だろ？ there の文に限らず、こんなふうに副詞が先頭に出ると、動詞の動きやはたらきが鮮明になるじゃないか。そうなる、動詞だって、「わあー、副詞って頼もしいんだわあ」と、副詞の隣についてくるんだ。

Y：妻は、居候のそばがいいんだなあ。 **M+V+S** って、なんだか主人(主語)がやきもちをやきそうな文だね。



トレーニング

⑥ 下線の副詞(句)を文頭に出して、S+V+MからM+V+Sへ全文を書きかえなさい。

- (1) The small bird went up. (その小さな鳥は飛んでいった)

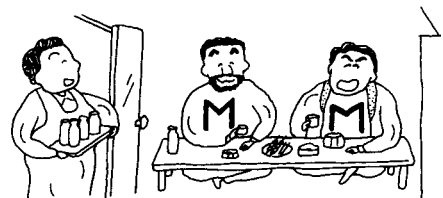
- (2) Your daughter comes here. (あなたの娘さんがこちらへ来ますよ)

- (3) A calm comes after a storm. (静けさは、嵐のあとにやって来る)

- (4) The man stood in the corner. (その男はすみに立っていた)

Y：ねえ、このあいださ。おじさんの昔の友だちって、いう人が来て、おじさんの部屋にしばらく泊まっていたことがあったじゃない？

N：ああ、あいつな。北野っていうんだ。いいやつよ。



Y : それで思い出したんだけどね, 1つの文に副詞を2つとか3つ入れることもできるの?

N : 修飾語はいくつ加えてもいいんだ。ただし, S + Vで始まるふつうの文の場合には, 順番がある程度決まっている。これで, 副詞の世界もなかなか厳しいんだ。

「いつ」「どこで」以外の副詞(句) → どこで → いつ

例 He is walking slowly along the street now .

(どこで) (いつ)

(彼は今, ゆっくりと通りを歩いている)

ちよつと、ひとこと

「どこで」, 「いつ」を表す語句の並べ方は, 小→大の単位

例 ■ at ten on Sunday

■ in Motomachi, Kobe

## トレーニング

7 ( )内の語を正しい順序に並べかえなさい。

(1) We are [ on Sundays, usually, at home ] .

(2) It rained [ in Tokyo, hard, yesterday ] .

(3) Our plane arrived [ tonight, at 7 p. m. , in Rome ] .

(4) He was born [ on the 4th of July, in Hong Kong, at noon, 1957 ] .

N : さあーとと, おっ, もう10時半か。きょうの勉強は, もうこれくらいにすつか?

ちよつとばかり, トレーニングが多かったんで, 疲れたろう。

必ず答えあわせをして, まちがっていたら, もう一度やり直してほしいが,

ぼくは, これで失礼するよ。君のお母さんが, ぼくに用事があるらしい。

はい。今行きまあ——す。



## まとめのトレーニング

1 次の各文を, それぞれ S, V, M(動詞の修飾語)に分けなさい。

(1) We were at Emi's house last night.

(2) We can ski in Hokkaido during the winter.

(3) He can swim fastest in our class.

(4) I will come to see you tomorrow.

(5) My mother must go to the dentist today. ▶ dentist 「歯医者」


(6) There is no tea in the pot. ▶ pot 「ポット」


(7) Are there any books on the desk?



## 第 2 文型

### 第 4 日 — S + V + C の V は be 動詞ばかりじゃない —

 (N) : さっき、町内会長の田中さんに会ったらさ、ブラック・ブルゾン・スーツなんか着ちゃって、妙に若く見えるんだよ。  
 なにか、あつたんじゃないかい？

 (Y) : あれね、奥さんと娘さんが誕生日のプレゼントに買ってあげたんだって。それにしても、おじさん悪いよ。あの人、まだ若いんだよ。おじさんと、あまり変わらないもん。

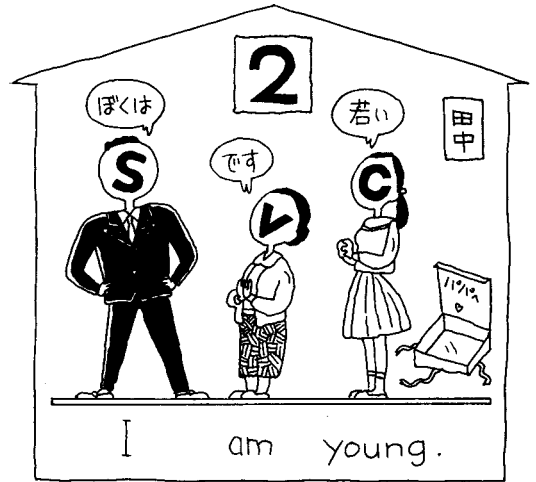
N : へーえ！ と驚いたところで、きょうの勉強にはいろう。きょうは、

Mr. Tanaka is young. (田中さんは若い)  
 S            V    C

と同じ第 2 文型(S + V + C)の文でありながら、

Mr. Tanaka looks young. (田中さんは若く見える)  
 S            V    C

のように、be 動詞以外の動詞を使う文について勉強していこう。



★ be 動詞もそうだが、次にあげる動詞(V)は、必ずうしろに補語(C)を伴って、主語(S)がどのような様子なのかを表すものだ。

- **appear, look, seem** ..... いずれも、「～のように見える、～らしい」

例 He **appears** rich.

(彼は金持ちのように見える)

- **keep, remain, hold, lie, stand, stay** ..... いずれも、「～のままである」

例 Please **remain** my friend forever.

(いつまでも、私の友だちのままでいてください)

Y : そういえば、田中さんのところも、娘(C)が妻(V)に協力し、主人(S)を若返らせたもんね。

ちょっと、ひとこと

補語とは何かを忘れていたら、  
1 日め、2 日めをもう一度。

トレーニング

1 次の文を和訳しなさい。また、各文の S, V, C を指摘しなさい。

(1) They kept silent while I was talking. ▶ silent 「沈黙して」

(2) Reading the magazine seems a lot of fun. ▶ magazine 「雑誌」

(3) He looks younger in a black suit than in a blue one. ▶ in 「～を着て」 suit 「スーツ」

★N：次にあげる動詞は、補語を伴って、主語がどのように変化したかを表すことができる。早い話が、主語が補語になってしまうというわけさ。

■ become, come, get, go, grow, prove, turn, fall, run …… いずれも、「～になる」

例 It is **getting** warmer and warmer.

(だんだん暖かくなっている)

各動詞は少しずつ用途が異なるので、辞書を調べてみよう。

Y：思い出した！ 第2文型(S+V+C)では、意味の上で必ず“S=C”の関係になるんだっけ。

N：今、君は1日めと2日めのトレペを読み直したんだろ？ 思い出すのは、当たり前じゃないか！



トレーニング

2 [ ]の語を並べかえて、文を完成させなさい。また、完成した文の S, V, C を指摘しなさい。

(1) その木のほとんどの葉は11月前に黄色くなる。

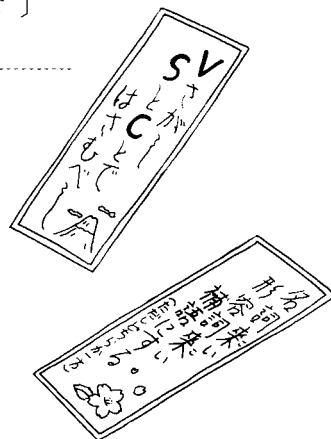
[ turn, before, most leaves, yellow, of, the tree, November ]

(2) 毎日散歩することが彼の習慣になった。

[ every day, taking a walk, custom, became, his ]

(3) 彼の娘はだんだん背が高くなってきた。

[ taller, his, grew, daughter, and, taller ]



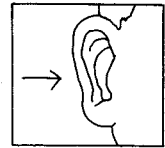


★次にあげる動詞は、補語を伴って、主語が感覚的にどのような様子なのかを表すことができる。

■ **sound** ..... 「～のように聞こえる」

例 His speech **sounds** difficult.

(彼のスピーチはむずかしそうに聞こえる)



■ **smell** ..... 「～においがする」

例 This flower **smells** sweet.

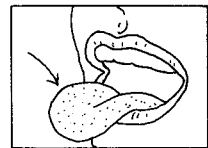
(この花はよいにおいがする)



■ **taste** ..... 「～の味がする」

例 A good medicine **tastes** bitter.

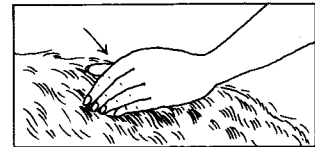
(良い薬は苦い味がする。→ 良薬口に苦し)



■ **feel** ..... 「～の手ざわりがする」

例 Your sweater **feels** soft.

(あなたのセーターは柔らかい手ざわりがする)



■ feel には、主語がどのように感じているかを表す、S + V + Cの用法もある。  
I feel better today. (きょうは気分がよい)  
I feel sad. (私は悲しい)  
I feel cold. (私は寒い)

—— ちょっと、ひとこと ——

先にあげた appear, look, seem をこれらの仲間に入れてもよい。



## トレーニング

3 ( ) に look, sound, smell, taste, feel から 1 語を選び、適当な形にして入れなさい。また、[ ] に補語を入れなさい。

(1) The cake made by her ( ) too [ ].

(彼女の作ったケーキは甘すぎた)

(2) Silk ( ) [ ] and smooth.

(絹は柔らかくすべすべした手ざわりがする) ▶ smooth 「すべすべした」

(3) My teacher's hair ( ) very [ ].

(私の先生の髪はとてもよい香りがした)

(4) Does his talk ( ) [ ]?

(彼の話が真実のように聞こえますか)

(5) She ( ) [ ] when she was with the children.

(彼女は、子どもたちといるとき、幸せそうだった)

Y: おじさん, トレーニング③の補語は全部, 形容詞になっちゃったよ。  
そこに, 名詞が使われるってことは, ないわけ? たとえば, こんなふうに。

It smells an apple. (それはリンゴのにおいがする)

N: ない。ただし, like という前置詞を補えば, 名詞を置くことができる。〈前置詞+名詞〉が形容詞句となって, 本物の形容詞と同じような働きをするんだ。ちょっと, むずかしいかな。

Y: 中学のときに,

The dog looks like a wolf.

(その犬はオオカミのように見える)

というような文は習ったよ。あの like は, この前置詞だったんだね。

N: そうそう。ほかの例をあげてみよう。

This pencil smells like a rose.

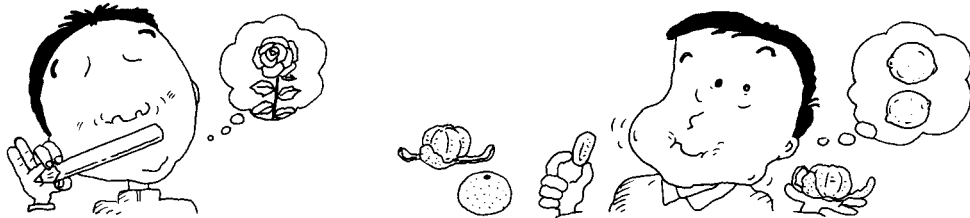
S V C

(この鉛筆はバラのような香りがする)

These oranges taste like lemons.

S V C

(これらのオレンジはレモンのような味がする)



Y: 主語が単数なら, 補語も単数。複数なら複数と, あくまで“S=C”という等式が成り立つように注意しなくちゃいけないんだね。(眠くなる)

N:  $S > C$  や  $S < C$  のような不等式はいけないよ。君は数学も弱いそうだから, 気をつけたまえ。

Y: .....

N: おいおい, 眠ってるのかい!

Y: あっ, ごめんなさい。

N: いかんな, 勉強の最中に。罰として,

「ぼくは, 眠りながら座っていました」

を英語で言ってみたまえ。

Y: できません。

N: じゃあ, 目をさまして, よく聞くんだな。



**I sat sleeping.**

Y: あれ? その文, S+V+Mの第1文型になるんじゃないの?

N: ところが, これがS+V+Cとなるんだなあ。

I sat sleeping.

S V C

(私は, 眠りながら座っていた)

この文から, sleeping(C)を除いてごらん。どんな様子(状態)で座っていたのか, わからなくなるだろ? sleepingはsatの不完全なところを補う補語になっているんだ。

Y: その sleeping は, 形容詞なの?

N: いや, これは現在分詞さ。しかし, 形容詞相当の語句として扱ってもいいだろう。

★次にあげる動詞は、現在分詞を補語にしてもよい。

- **sit** ~ (～しながら座っている)      **go** ~ (～しに行く)
- keep (on)** ~ (～し続ける)      **come** ~ (～しながら来る)
- lie** ~ (～の状態にある)      **stand** ~ (～しながら立っている)

例 The boy came **crying** to his mother.

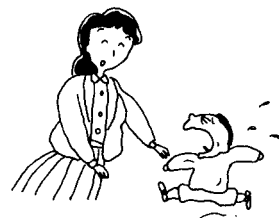
S      V      C      M

(その男の子は、泣きながら母親のところへやって来た)

例 Aunt Stella sat **knitting** in the sofa.

S      V      C      M

(ステラおばさんは、編み物をしながらソファに座っていた)



## トレーニング

4 日本文とあうように、( )に動詞を、[ ]に補語としての現在分詞を入れなさい。

- (1) A lot of people ( ) [ ] "Hallelujah."  
(たくさんの人々が、ハレルヤを歌いながら立っていた)
- (2) Don't ( ) [ ] TV so long.  
(そんなに長くテレビを見続けてはいけません)
- (3) Father ( ) [ ] out of the room.  
(父は走りながら部屋から出てきた)
- (4) We ( ) [ ] for an hour.  
(私たちは座って1時間話していた)

5 次の文に誤りがあれば直しなさい。

- (1) These people look like a foreigner. ▶ foreigner 「外国人」  
.....
- (2) This ball feels a stone.  
.....
- (3) My dream will come true next year.  
.....
- (4) Her baby slept lying in bed. ▶ lie 「横たわる」+ ing → lying  
.....

N : さらにつけ加えると、過去分詞でも補語になれるんだ。

現在分詞の場合には、I sat sleeping. のように、主語が「...している状態で~する」ことを表すが、過去分詞が補語になると、「...された状態で~する」ということになる。

例 He stood **surrounded** by his fans.

(彼はファンに囲まれて立っていた)

★主語が感覚的にどのような様子なのかを表す動詞と次にあげる動詞は、過去分詞を補語にしてもよい。

- **become** ～, **get** ～ ..... いずれも「～されるようになる」
- **lie** ～, **stay** ～(～された状態にある)      **sit** ～(～されて座っている)
- stand** ～(～されて立っている)

例 The truth became **known** to us all.  
(真相が私たち全員に知れわたった)

==== トレーニング =====

6 ( )の動詞を現在分詞か過去分詞にして、S + V + Cの文が成り立つようにしなさい。

- (1) The mountain lay ( cover → ) with snow.
- (2) He looked ( surprise → ) at the news.
- (3) I kept ( wait → ) for my friend.
- (4) The news will become ( know → ) soon.
- (5) My brother sat ( read → ) today's newspaper.

—— ちょっと.ひとこと ——

Vをbe動詞におきかえて進行形になりうるものは、現在分詞。受動態になりうるものは、過去分詞。

7 次の文を和訳しなさい。また、どれが補語であるか指摘しなさい。

- (1) I became tired after the hard work.

.....

- (2) He lay drunk on the street. ▶ lay は lie の過去形

.....

- (3) She lay crying on her bed.

.....

- (4) That clock stayed broken for a long time. ▶ clock 「かけ時計(または、置き時計)」

.....

- (5) We sat eating on the bench. ▶ bench 「ベンチ」

.....

Y：娘(C)は母親(V)の要望に応じて、いろいろなスタイルに変身するんだなあ。

①名詞，②代名詞，③名詞相当の語句，④形容詞，⑤前置詞＋名詞，⑥現在分詞，⑦過去分詞  
これじゃあまるで、娘七変化——宝塚の世界だね。

N：父親(S)の様子を表現しようとする母親(V)を助けるために、いろいろと姿形を変えるんだ。  
親孝行だろう？ 君にはまねができないよ。



ちょっと、ひとこと

①②③については、  
1日めを参考に。  
⑤⑥⑦は、形容詞  
相当と見なしても  
よい。

### まとめのトレーニング

① 次の文を和訳しなさい。また、各文の S, V, C を指摘しなさい。

(1) Please keep quiet.

.....

(2) Miss Kaneko looks lovely.

.....

(3) Your idea sounds interesting.

.....

(4) He came running to her bedside. ▶ bedside 「まくらもと」

.....

(5) The letter lay forgotten in the desk for many years. ▶ forgotten は forget の過去分詞

.....

② 意味がとおるように、適当な語を選びなさい。

(1) She looked [ happily, happiness, happy ].

(彼女は幸せそうだった)

(2) We kept [ silent, silently ].

(私たちは静かにしていた)

(3) This flower smells very [ sweet, sweetly ].

(この花はとてもよいにおいがする)

(4) She remained [ lying, lain, lay ] there. ▶ lie は lie-lay-lain-lying と活用する

(彼女はそこに横になったままでいた)

(5) His excuse sounds [ strange, strangely, like strange ].

(彼の言いわけはへんだ)

③ 英語を並べかえて、日本語の意味にあう英文を作りなさい。

- (1) 信号が青になった。  
〔 turned, The, light, green, traffic, has 〕
- 
- (2) まだ、おなかがすいていますか。  
〔 hungry, Do, feel, you, still 〕
- 
- (3) 写真を撮るあいだ、じっと立っていなさい。  
〔 still, picture, while, take, Stand, I, your 〕
- 
- (4) 状況はきわめて悲観的であるように思われた。  
〔 hopeless, The situation, quite, seemed 〕 ▶ situation 「状況」
- 
- (5) 冬になって、日はますます短くなった。  
〔 shorter, shorter, In winter, days, became, and, the 〕
- 
- (6) 違いがあるにもかかわらず、私たちは相変わらず友だちだ。  
〔 friends, We, in spite of, our, remain, difference 〕 ▶ in spite of ~ 「~にもかかわらず」
- 
- (7) 彼女は座ってセーターを編んでいた。  
〔 knitting, sat, She, a sweater 〕
- 
- (8) 電話で長話をするな。  
〔 keep on, on, phone, talking, Don't, the 〕 for a long time.
- 

### まとめと予告編

きょうは、第2文型(S+V+C)を作る be 動詞以外の動詞を、5つの項目に分けてあげてみました。あまりにもたくさん出てきたので、めんくらってしまったのではありませんか。「1日で全部覚える」などとは言いません。でも、**例**や解説、トレーニングに出てきた動詞が、第2文型(S+V+C)の文を作るということだけは、しっかり心に留めておいてください。

きょうのサブタイトルは、——S+V+CのVはbe動詞ばかりじゃない——となっていますが、後半のページのために、もう1つサブタイトルをつけてもいいなと思っています。それは、

——S+V+CのCは名詞や純粋な形容詞ばかりじゃない——


少々長いかとも思うのですが。

あしたは、第3文型(S+V+O)について勉強しましょう。1人息子の成長過程を、いろいろな視野から見つめていきます。じゃあ、あしたまで、お体大切に。


## 第 3 文型

### 第 5 日

——長くなっても O は O——

 (N) : さっき、かどのタバコ屋の 1 人息子に会ったんだが、最近また背が伸びたぞ。足なんか、まるで竹ざおだよ。父親の背丈はもうとっくに超えているらしいが、中身はまだまだ子どもだなあ。さっきも、母親にべったり甘えていたよ。

ところで、(下を見る)君の足はそれほどじゃあ、ないね。

 (Y) : 失礼だなあ。おじさんに比べれば、ぼくのほうがずっと長いよ。

N : 今と昔じゃ、食べ物がちがうの！ ぼくの世代じゃ、これが平均なの！

\* \* \* \*

N : きょうは、第 3 文型、つまり S + V + O の、O にスポットをあてて、「時代とともに長くなる息子たちの足」じゃなかった、

「学年とともに長くなる目的語」

というテーマで話をしていこう。

中学 1 年の教科書に出ていた目的語といえば、I have a book. の a book や、I know him. の him のように、短いものばかりだっただろ？ それで、中 2、中 3 と進むうちに少しずつ長くなっていったらどう？ これからも、どんどん伸びていくぞ。

しかし、**どんなに長くなっても目的語は目的語さ。文の中での役割に変わりはないんだ。**

まずは、中 2 レベルの文から始めてみよう。



【例題 1】 次の文の目的語を指摘し、( ) に入れなさい。

1 I can't read such a long story.

(私はそんな長い話は読めません)

2 I have two younger sisters in Osaka.

(私には大阪に 2 人の妹がいます)

3 Which cat do you like best among them?

(あなたは、それらの中でどのネコがいちばん好きですか)



解答 1 (such a long story) 2 (two younger sisters) 3 (Which cat)

Y：中2で、こんなに長い目的語が出てきたっけ？  
ところで、目的語って名詞なんでしょう？ 解答の中には、such とか a とか、名詞じゃないものも入っているみたいだよ。

N：ああ。これらの文の場合、目的語そのものは、  
1 story, 2 sisters, 3 cat と短いんだが、いろいろな飾り(=修飾語)がついているんだ。それで長く見えるというわけさ。

Y：コンパニオン形容詞のお姉様たち(3日め参照)が、小さくて頼りない男の子を傍<sup>かたわ</sup>らから盛り立てて、外見を立派にしてくれているって感じかな。

N：まあ、そんなところだろう。

こんどは、

**不定詞や動名詞が名詞句を作り、それが目的語になっている文**

に移ろう。目的語がだいぶ長くなるが、それでもまだ中2～中3レベルだよ。



**【例題2】** 次の文の目的語を指摘し、( )に入れなさい。

- 1 I wanted to see him again. (私は彼にもう一度会いたいと思った)
- 2 Have you finished writing your English letter yet?  
(あなたは英語の手紙をもう書き終えましたか)

解答 1 (to see him again) 2 (writing your English letter)

N：1 が不定詞、2 が動名詞を使った例だが、  
(彼にもう一度会うことを) → 「したいと思った」  
(英語の手紙を書くことを) → 「終えましたか」  
と考えれば、目的語だとわかるだろう？

Y：( )の中には、また別の目的語(him, letter)や副詞(again)がはいっているね。

N：これらの不定詞や動名詞は、目的語になるわけだから、役割の上では名詞なのだが、もともとは see, write という動詞だから、動詞としての性格ももっているのだ。だから、目的語になりつつ、さらに自分のうしろに、自分用の目的語や副詞を置くことができるのさ。  
しかし、そういうものをすべてひっくるめて、**文全体の目的語と考えていいんだ。**

I wanted ( to see him again ).  
S V O (V) (O) (副詞)  
└──┬──┘

Have you finished ( writing your English letter ) yet?  
S V O (V) (O)  
└──┬──┘

といった構造だよ。

Y：( )からはみだしている yet は、何になるの？

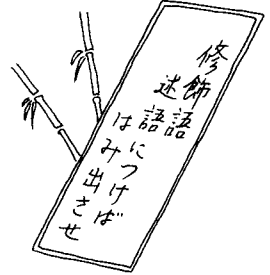


N：あれは、目的語以外の要素で、文全体の動詞(finished)を修飾するための修飾語さ。「もう」  
どうしたのかと言えば、「終わった」のだ。

## トレーニング

1 次の文の目的語を指摘し、( )に入れなさい。動詞の修飾語に注意すること。

- (1) I like French and history very much.
- (2) I met a few friends at the party.
- (3) I will help my mother this afternoon.
- (4) I want something cold to drink now.



2 次の文の目的語を指摘し、( )に入れなさい。動詞の修飾語に注意すること。

- (1) He decided to become a doctor.
- (2) Don't forget to mail my letters. ▶ mail 「投函する」
- (3) My father gave up smoking last month.
- (4) Mr. Ito will start playing golf next year. ▶ golf 「ゴルフ」

3 不定詞や動名詞は目的語になります。そのことに注意して、[ ]内の語を正しい順序に並べかえなさい。なお、[ ]の部分は文全体の目的語にあたります。

- (1) 私たちは私たちの先生のうわさをして楽しんだ。  
We enjoyed [ about, teacher, our, talking ].

- (2) 私はテレビで野球の試合を見るのが大好きです。  
I like [ watch, TV, to, games, on, baseball ] very much.

- (3) 私はあなたの写真をもう一度見たい。  
I want [ see, pictures, again, your, to ].

- (4) 彼はそのとき、ニューヨークへ行く決心をした。  
He decided [ to, New York, to, go ] at that time.

N：次に、不定詞の前に疑問詞がついて、それが目的語となる文をやる。

Y：ひゃあ〜。ますます長くなるんだ。

N：びくびくするなよ。中3のときにやっただろ？





てきた。

その締めくくりに、**節が目的語になる形**をやろう。

- 句=名詞・形容詞・副詞のはたらきをするが、それだけでは文の形をなさない語句のかたまりのこと。  
節=句とちがって、S+Vを含む語句のかたまりのこと。

★次にあげる文は、that に導かれる節が目的語になった例である。

I know **that** you are kind. (私は、あなたが親切だということを知っている)

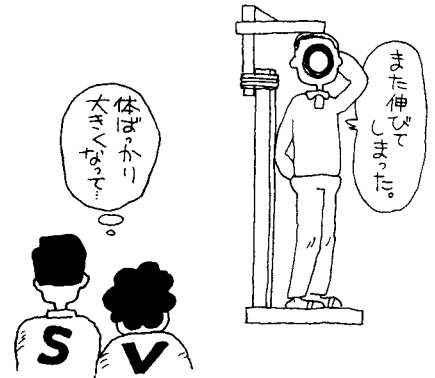
この文は、2つの文から成り立っていて、I know ~という文のうしろに You are kind. という文が、that という接続詞で結ばれて続いている、と考えればよい。

I know ( that you are kind ).  
 S V O (S) (V) (C)

Y: こんどは、目的語にあたる節の中に(かっこ内)、主語も動詞もはいつているんだね。

N: 息子もずいぶん大きくなって、いよいよ体つきだけは、両親を追い越してしまったところだな。

しかし、どんなに伸びても息子は息子。目的語として「~(と)いうこと)を」と、ひとまとめにして考えればいいんだよ。



### トレーニング

5 目的語を( )に入れてから和訳しなさい。that は省略されることもあるので、注意すること。

(1) Jiro believes that Hanako will invite him to dinner. ▶ invite A to B 「AをBに招待する」

.....

(2) She said that her father would go to France.

.....

(3) I don't think it will be fine tomorrow.

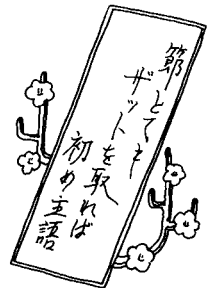
.....

(4) They will understand I can't speak English well.

.....

(5) She says she used no sugar to make that cake. ▶ sugar 「砂糖」

.....



ちょっと、ひとこと

どんな節でも、( )  
でくると和訳しやすくなる。



Y: ところで、おじさん。たとえば、Is he an English teacher? のような疑問文を目的語にするときには、どうするの? that は使えないのかな?

N: that ではなく、if や whether (いずれも、「~かどうか」の意味) を使うんだ。これは高1の新出事項だから、しっかり勉強しよう。

★次にあげる文は、「~かどうか」という意味の if や whether に導かれた節が、目的語になった例である。

I don't know **if** he is an English teacher.

(私は、彼が英語の先生なのかどうか知らない)

Do you know **whether** he is from the U. S.?

(あなたは、彼がアメリカ出身かどうか知っていますか)

if や whether を使う場合には、語順に注意すること。Is he ~? のような疑問文も、if や whether のあとでは〈主語+動詞〉の語順になる。

I don't know. + Is he an English teacher?

→ I don't know if (whether) he is an English teacher.

S            V                                    O

☒ if も whether も同じ意味だが、口語では if のほうがよく使われる。

★さらに、where, when などの疑問詞で始まる疑問文を目的語にする場合は、if や whether は使わずに、その疑問詞で始めればよい(やはり語順は、〈主語+動詞〉にする)。

Soon we will discover where he is. (← Where is he?)

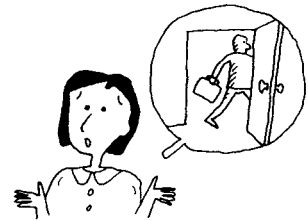
M    S            V                    O

(まもなく、私たちは彼がどこにいるかわかるでしょう)

I do not know when he started. (← When did he start?)

S            V                                    O

(私は、彼がいつ出発したか知りません)



☒ 助動詞の do, did は省く。

☒ if や whether や疑問詞は、that とちがって省略できない。

トレーニング

⑥ 目的語を( )に入れてから、各文を和訳しなさい。

(1) I don't know if he will come here.

(2) I wonder whether the news is true. ▶ wonder 「~かしらと思う」

(3) He asked why she was late for school. ▶ be late for ~ 「~に遅れる」

- (4) Do you know exactly what time the train leaves? ▶ exactly 「正確に」
- .....

7 節の中は、〈S + V + 〉の語順になります。そのことに注意して、〔 〕内の語を正しい順序に並べかえなさい。なお、〔 〕の部分は文全体の目的語にあたります。

- (1) 私は、どちらの本がより役に立つのか知りたい。

I want to find out [ is, useful, which, more, book ].

.....

- (2) 私たちは、私たちの先生が以前ヨーロッパへ行ったことがあるのかどうか知りません。

We don't know [ has, teacher, been, our, if, to, before, Europe ].

.....

- (3) あなたは、彼がどのようにして1年で英語をマスターしたのか知っていますか。

Do you know [ mastered, he, English, a, how, in, year ]?

.....

N：中1から高1にかけて成長を続けた目的語の話は、これでおしまいだ。

今後もまだ伸びる余地はありそうだが、初めに言ったとおり、目的語は目的語さ。どこからどこまでが目的語なのかを見分けることができれば、少しも恐れることはない。

じゃあ、まとめのトレーニング、がんばれよ。

### ==== まとめのトレーニング =====

1 次の文の目的語を指摘し、( )に入れなさい。

- (1) I usually eat lunch at 12:30.
- (2) We heard a strange sound over there. ▶ over there 「向こうで」
- (3) I enjoyed playing tennis very much.
- (4) My grandfather likes to take a walk early in the morning.
- (5) I finished reading this book today.
- (6) I enjoyed talking with John about music last night.
- (7) Do you know what to read for the examination? ▶ examination 「試験」
- (8) I think work for a newspaper is quite interesting.
- (9) I don't know if the store is still open.
- (10) Do you know when Bob will arrive in Japan?

2 目的語を( )に入れてから、各文を和訳しなさい。

- (1) I like collecting old stamps.
- .....

(2) He tried to write a letter in English, but he couldn't.

(3) We hope it will be fine tomorrow.

(4) I don't know if she is at home now.

(5) I don't remember what that man's name is.

③ ( )に適切な語を入れて、英文を完成させなさい。

(1) 私は、どちらを買うかまだ決めていません。

I haven't decided ( ) to buy yet.

(2) 私は、彼が来るかどうか知りません。

I don't know ( ) he will come.

(3) あなたは、彼がだれであるか知っていますか。

Do you know ( ) ( ) ( )?

④ 次の文を、S + V + Oの文型を使って英語に直しなさい。

(1) 山田さん(Mr. Yamada)は、きのう駅でカメラをなくしました。 ▶「なくす」はlose

(2) 私は、彼らは兄弟だと思います。

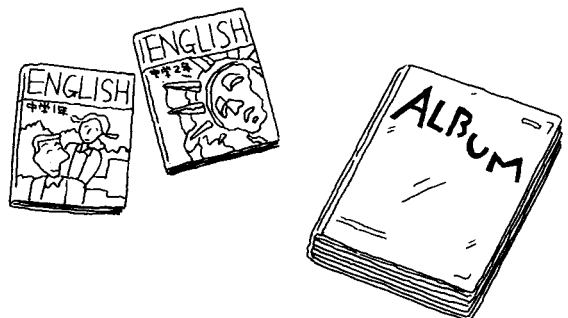
(3) あなたは、彼女がこの町に住んでいるかどうか知っていますか。

### まとめと予告編

きょうは、S + V + OのOの部分に焦点をあて、いろいろな目的語があるということ、中学校時代の皆さんの成長ぶりにたとえて書きました。懐かしい日々を、思い出してもらえたでしょうか。もし忘れていたら、あの頃のアルバムと教科書を、おふとんの中でそうっと開いてみてください。

あしたは、S + V + O + Oの番ですね。2人の息子と母親とのかかわり方を見ていくことにしましょう。それでは、また。

P.S. アルバムと教科書、見つかったかな。



## 第4文型

### 第6日 — 長男が母親から遠ざかるとき、そして… —

(N)：裏通りの金井さんのところでは、  
離れを増築したらしいが、下宿人でも来  
るのかい？

(Y)：そうじゃないんだ。あの家には  
息子が2人いてね、長男が来年受験だから、  
勉強部屋を作ったんだって。

N：ははーん。あそこの母親は、そうとう  
な教育ママだっとうわさだから、さすが  
の長男も母親の干渉に耐えられなくなっ  
て、離れに引き込まろうって心境なんだ  
な。かわいそうに。これからしばらくは、  
下宿人扱いされるぞ。

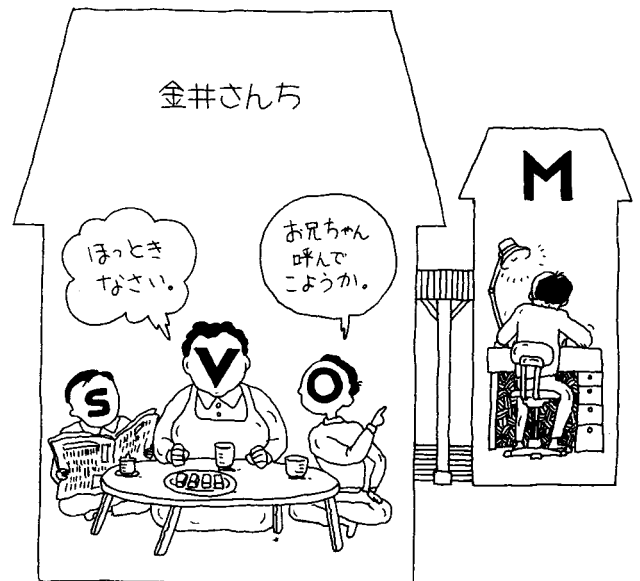
\* \* \* \*

N：じゃあ、きょうは、

第4文型(S+V+O+O)の、1つめのO(間接目的語、以下長男として登場)が、V(動詞=母  
親)のそばを離れ、いったんはM(修飾語)になってしまうが、やがてまた、もとのS+V+O+  
Oに戻るまでの話をしよう。

■ 2つめのOは直接目的語と呼ばれる。以下、次男として登場。

しかし、まずその前に、まだ長男が母親のそばを離れる前のこと、つまり、S+V+O+Oの  
語順のことを、確認しておかなければなるまい。



【例題1】 次の文はS+V+O+Oの文です。和訳してから、間接目的語(～に)と直接目的語  
(～を)をそれぞれ( )に入れなさい。

1 Mrs. Smith made Lucy a new dress.

.....

2 Ken showed us a book about cats.

.....

- 解答 1 スミス夫人は、ルーシーに新しいドレスを作ってあげました。  
 (間接目的語 Lucy) (直接目的語 a new dress)
- 2 健は、私たちにネコに関する本を見せてくれました。  
 (間接目的語 us) (直接目的語 a book about cats)

Y：第4文型(S+V+O+O)の文では、1つめのOは「～に」、2つめのOは「～を」と、いつも役割が決まっているんだね。「～に」にあたる間接目的語(長男)が「人」、「～を」にあたる直接目的語(次男)が「物」と考えていいんでしょ？

N：「人」や「物」には限らないから、「生物」と「無生物」と考えたほうがいいだろう。



### トレーニング

1 次の文を和訳してから、間接目的語(～に)と直接目的語(～を)をそれぞれ( )に入れなさい。

- (1) Oh baby, give me one more chance. ▶ baby 「(好きな女の人をさして)かわいい人」

- (2) Who teaches them math at school? ▶ math 「数学」

- (3) What did you send Kiyoshi on his birthday?

2 次の語句を並べかえて、日本語の意味にあう英文を作りなさい。

- (1) 彼はきょうの新聞をぼくのところへ持ってきてくれた。

[ newspaper, he, me, today's, brought ]

- (2) 彼はコーヒーを1杯おごってくれた。

He bought [ coffee, cup, me, a, of ].

- (3) 私はトムに私の新しい自転車を1時間貸しました。

I lent [ Tom, an hour, for, new bicycle, my ].

- (4) コンビニエンス・ストアへ行く道を教えてもらえませんか。

Will you [ the convenience store, show, the way, to, me ]?



N：おぬし、トレーニングは全問正解でござったな。S + V + O + Oの語順は、すっかりマスターしたとお見受けした。ならば、ぼちぼち長男(1つめのO)を母親のもとから引き離し申そう。

Y：どうして、急に時代劇になっちゃうの？

N：気にするな。さて、長男は、まだ幼い次男(2つめのO)を母親のそばに残し、自分は離れて下宿人のような暮らしを始めるのだ。

Y：つまり、おじさんと同じ……。ということは、修飾語(M)になってしまうんだね。

N：そうだ。



★第4文型(S + V + O + O)の文は、間接目的語(「～に」にあたる部分)をうしろにまわして、次のように書きかえることができる。

例 He gave his brother a pen. → He gave a pen to his brother.  
 S V O O S V O M  
 (彼はペンを弟に与えた)

例 He bought his wife a new hat. → He bought a new hat for his wife.  
 S V O O S V O M  
 (彼は新しい帽子を妻に買ってあげた)

■ このM(前置詞+名詞)を副詞句という。

もともと名詞や代名詞である目的語が、修飾語になるためには、前置詞の力を借りなくてはならない。しかし、どんな前置詞でもよいかというと、そうはいかない。動詞のタイプによって、to, for, ofの中から選択しなければならないのだ。

Y：まだまだ、母親の影響力は衰えないんだね。

下宿人を装う長男にto をつけさせる母親	つまり	S + V + O + (to ~) の形をとる動詞	give(与える), bring(持ってくる), hand(手渡す), lend(貸す), pay(支払う), send(送る), show(示す), teach(教える), tell(告げる), write(書く)
下宿人を装う長男に forをつけさせる母親	つまり	S + V + O + (for ~) の形をとる動詞	buy(買う), cook(料理する), find(見つける), get(取ってくる), leave(残しておく), make(作る), play(演奏する), sing(歌う)
下宿人を装う長男にof をつけさせる母親	つまり	S + V + O + (of ~) の形をとる動詞	ask(たずねる) ■ 実際には、この構文はあまり使われない。

【例題2】 次の文を、( )内の前置詞を補って同じ内容の文に書きかえなさい。

1 I bought my mother a bunch of carnations. (for)

.....

2 My girl friend often writes me a long letter. (to)

.....

解答 1 I bought a bunch of carnations for my mother.

(私はカーネーションの花束を母のために買った)

2 My girl friend often writes a long letter to me.

(ぼくのガールフレンドはよく長い手紙を書いてくる)

Y: 前置詞さえわかれば、「長男+次男」を「次男+前置詞+長男」にすればいいだけだから簡単だね。

トレーニング

3 次の文を, I gave him a book. ⇔ I gave a book to him. のように書きかえなさい。

(前置詞は表を参考にしてよい)

(1) He told his children an interesting story last night.

(2) Shall I get you something to drink?

(3) My uncle has to pay ten dollars to the bookseller. ▶ bookseller 「本屋」

(4) Nancy's father left some farms for her. ▶ farm 「農場」

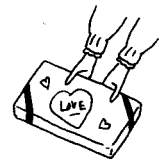
4 次の語句を並べかえて, 日本語の意味にあう英文を作りなさい。

(1) 行方不明の少年をその子の両親のために捜してあげましょう。

{ find, let's, for, the missing boy, his parents }

(2) 彼女はバレンタイン・デーに太郎にチョコレートを1箱手渡した。

{ handed, a box of chocolate, Taro, she, on St. Valentine's Day, to }



(3) お返しに太郎は, 彼女にキャンディーを送った。

And in return Taro { candies, her, sent }.

Y: ここで確認したいんだけど, 長男(1つめのO)が修飾語になってしまうということは, S + V + O + OがS + V + O + Mになってしまう, ということだね。

N: ザッツ ライト(そのとおり)。第4文型が第3文型になってしまうのだ。

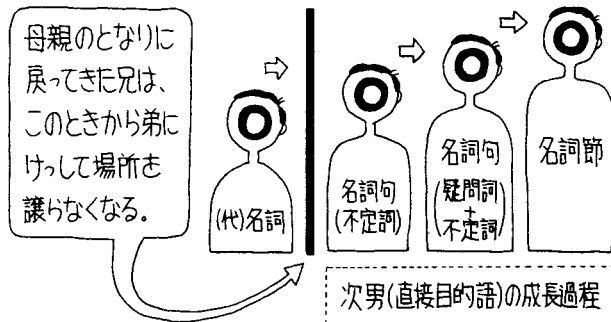
Y: 文型まで変わっちゃうなんて, なんだか悲劇っぽいな。それで, もう長男は母親(V)のもとへは戻ってこないの?

N: そこなんだよ, きょうの後半のポイントは。

\* \* \* \*

きょう, 第3文型のところで, 1人息子の成長の記録を見てきたらどう?

第4文型では、長男は生物を表すので、名詞か代名詞どまり。(例：the boy, me など)  
ところが、次男は無生物を表すので、\*成長期になると、第3文型の1人息子と同じような伸び方をするんだ。



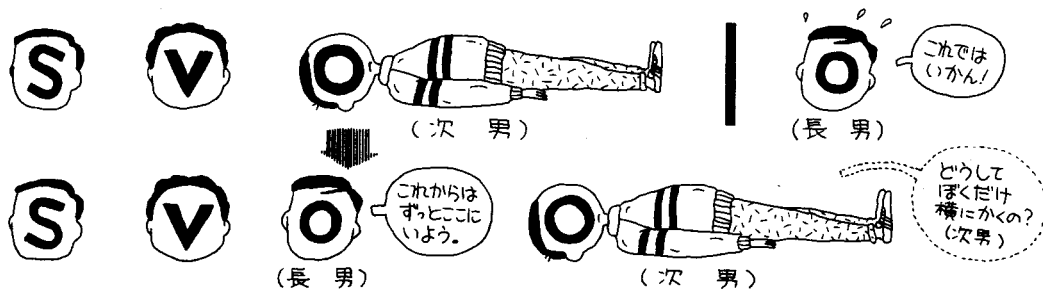
長男は、弟の成長の様子をたえず気にかけていて、弟が名詞句(名詞のはたらきをする句のこと)に成長したとたん、母親の隣に戻ってくるんだ。そして、それから後は、けって母親のそばを離れないのさ。

—— ちょっと、ひとこと ——

\*無生物を表す直接目的語は、なぜ長くなるのか？ それは、無生物の中には こと がらが含まれるからである。

Y：どうして長男は、弟が句になったとたんに戻ってくるの？

N：弟の背が伸びてくると、母親との間隔が次第に広がっていく。そうすると、母親が自分のことを忘れてしまうのではないかと恐れるのさ。



きょうの勉強も、これ以降は、戻ってきた長男のうしろに成長した次男が続く形、つまり、S + V + O + O (=名詞句, 名詞節) のことになる。

まずは、名詞句—— **不定詞** や **疑問詞 + 不定詞** —— の例文をあげてみよう。

[不定詞]	My mother <u>told me</u> <u>to stay here forever</u> .
	S            V    O(間)                    O(直)
	(母は私に、ずっとここにるように言った)
[疑問詞 + 不定詞]	I <u>will show your son</u> <u>how to treat girls</u> .
	S            V            O(間)                    O(直)
	(あなたの息子さんに、女の子の扱い方を教えてあげよう)

## ==== トレーニング ====

5 次の文を和訳し、間接目的語と直接目的語をそれぞれ( )に入れなさい。

- (1) Tomoko taught her sister how to make a fruitcake. ▶ fruitcake 「フルーツケーキ」

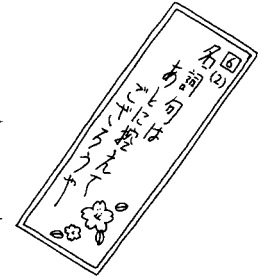
(2) That nurse will tell you where to go next. ▶ nurse 「看護婦」

(3) Please tell me how to pronounce this word. ▶ pronounce 「発音する」

6 次の文の誤りを直し、正しい文に書きかえなさい。

(1) May I ask of you to take my bag?

(2) He showed what to bring back to his dog.



ちょっと、ひとこと

直接目的語(次男)が名詞句になると、使える動詞は限られてくる。

ask, teach, tell など → 不定詞

ask, show, teach, tell など → 疑問詞+不定詞

N: 次に、名詞節——名詞のはたらきをする節で、**that で始まる節** や **疑問詞で始まる節 (if, whether を含む)** がある——が目的語になる場合だ。これらの節について忘れていたら、きのうの第3文型を読み返すこと。

[that 節] My uncle told me **that he was going abroad**.  
S V O(間) O(直)

(おじは私に、自分は外国へ行くつもりだ、と言った)

[疑問詞節] John asked his wife **why she was angry with him**.  
S V O(間) O(直)

(ジョンは妻に、どうして私に腹を立てているのか、とたずねた)

直接目的語が句や節になった場合には、「間接目的語+直接目的語」という語順は、もう変えることができない。

トレーニング

7 次の文を和訳し、間接目的語と直接目的語をそれぞれ( )に入れなさい。

(1) My mother often tells me that I must study harder.

(2) He told me that he went to a boys' school. ▶ boys' school 「男子校」

(3) He asked me if I could swim.

- (4) The teacher asked me why I laughed during his lecture. ▶ lecture 「講義」

8 次の日本語を英語に直しなさい。

- (1) あや子は私に、自分は忙しい、と言った。 ▶ 「忙しい」 busy

- (2) 私は彼に、英語が話せるかどうかたずねた。



ちょっと、ひとこと

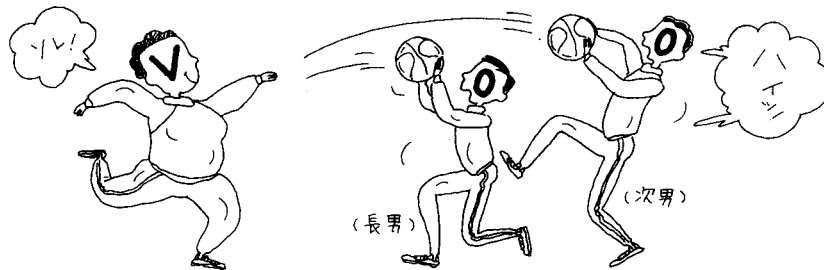
直接目的語(次男)が名詞節になると、さらに動詞の数は限られる。

teach, tell など → that 節

ask, show, tell など → 疑問詞節

Y：第3文型を作る動詞(昨日登場)って、無数にありそうだったけれど、きょうの第4文型を作る動詞は、数に限りがありそうだね。例題でもトレーニングでも、さっきから同じような動詞ばかり出てくるんだもん。

N：2人の息子(O)たちに、同時に行為を及ぼすことのできるパワフルな母親(V)なんて、そうそういるもんじゃないさ。



まよめのトレーニング

- 1 (1)~(2)は( )内の前置詞を補って同じ内容の文に、(3)~(4)は第4文型の文に書きかえなさい。

- (1) I will get you a ticket. (for)

⇒

(あなたに切符を手に入れてあげよう)

- (2) She kindly lent my mother an umbrella. (to)

⇒

(彼女は親切にも私の母にかさを貸してくれた)

- (3) Nancy gave some toys to them last night.

⇒

(ナンシーは先週彼らにおもちゃをいくつかあげた)

- (4) My father bought a new camera for me as a birthday present.

⇒

(父は誕生日のプレゼントとして、私に新しいカメラを買ってくれた)

## ② 指示に従って答えなさい。

- (1) I gave the book ( ) Mary. (適当な1語を補え)  
 (2) I bought the book ( ) Mary. (適当な1語を補え)  
 (3) We made a model plane ( ) Jimmy last night. (適当な1語を補え)  
 (4) They told us that it was very cold outside. (Oを指摘せよ)  
 (5) I advised him to go to bed early. (Oを指摘せよ)

## ③ 英語を並べかえて、日本語の意味にあう英文を作りなさい。( )の指定のあるものは、その数だけ単語を加えたり除いたりして作りなさい。

- (1) 静岡のおじさんがみかんを1箱送ってくれた。  
 [ Shizuoka, uncle, in, oranges, sent, a box of, Our, us ]  
 -----
- (2) その機械のおかげで、私たちの苦勞はずっと少なくなるでしょう。  
 [ trouble, machine, That, us, save, will, a lot of ]  
 -----
- (3) 彼は私たちに英語の手紙の書き方を教えてくれた。  
 He showed [ English, letter, to, in, that, write, a, how, us ]. (-1)  
 -----
- (4) 彼女は私に銀行で働いていると言った。  
 [ a bank, worked, She, she, told, to, for, that, me ] (-1)  
 -----
- (5) だれが窓を割ったのか言いなさい。  
 [ broke, window, Tell, the, me ] (+1)  
 -----

## まとめと予告編

きのうの第3文型あたりから、次々と新しい文法事項が出てきたので、「高校の英語って、一筋縄じゃいきそうにないな」なんて、ため息をもらしている頃ではないでしょうか。

でも、だからこそ、おもしろいのです。


トランプのばば抜きとセブンブリッジでは、どっちがおもしろい？ はさみ将棋と本将棋では、どっちがおもしろい？ 持ち札(持ち駒)の特徴やゲームのルールが複雑になればなるほど、それだけますます皆さんは夢中になるのではありませんか。

残念なことに、英文法のルールのほうは、皆さんが考えているほどには複雑ではありません。ちなみに筆者は、トレペの原稿は書いても、本将棋のルールがどうしても覚えられない、というありさまです。

あしたとしあさっては、第5文型(S+V+O+C)を取り上げます。たぶん、武者小路一家が話題の中心になることでしょう。

## 第5文型(その1)


### 第7日 — Oのことを, さまざまな姿で表現するC —

 (N): このあいだ, 君のお母さんがぼくに話があると言って, こんなふうには話し始めた。

「じつは, これは主人の意志で, それを私が口に出して言うんですが, 主人は康成にこうなってほしいと望んでいることがあるんです。」

しかし, 君の母上はそこまで言うと急に口ごもってしまった。君には何かと口うるさい母親らしいが, ほんとうは内気な人なんだなあ。そこへ通りかかったのが君の妹の喋子(ちょうこ)ちゃんだ。お母さんの言えなかったことをズバリ言ったよ。

「お父さんはねえ, お兄ちゃんのことを勉強家だと信じているの。だからお兄ちゃんに電気技師になってもらいたいだよ。」

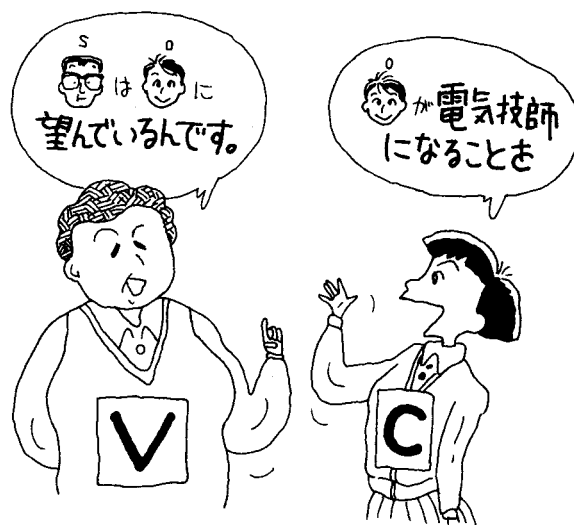
 (Y): あいつめ, おしゃべりなんだから!

\* \* \* \*

N: そこできょうは,

V(動詞=母親)を補助してO(目的語=兄)が「なんであるのか」「どんなようすであるのか」を表現してくれるC(補語=妹)について勉強しよう。

この第5文型のCも, 第2文型のCと同じように, Vによってさまざまな形に変わるんだ。まず, 中3の復習として, Cが名詞の場合だ。



**【例題1】** 次の文はS+V+O+Cの文です。和訳してから, 目的語と補語をそれぞれ( )に入れなさい。

1 We call him "Little Michael."

2 He named the dog John.



- 解答 1 私たちは彼を「リトル・マイケル」と呼んでいます。  
 (目的語 him) (補語“Little Michael”)  
 2 彼はその犬をジョンと名づけました。  
 (目的語 the dog) (補語 John)

Y: 1, 2とも, CはOが何であるかを表しているね。

N: そうだよ。この2つの文を, OとCを中心にして書きかえてみれば, “O=C”ということが, さらにはっきりわかるだろう。

1' He is “Little Michael.” (彼=リトル・マイケル)

2' The dog is John. (その犬=ジョン)

Y: なるほど。第5文型の後半の部分は第2文型に書きかえることができるんだね。実はほく, S+V+O+CのCが名詞だと, S+V+O+Oと勘ちがいするんじゃないかと心配だったけれど, 第2文型に書きかえができるかどうか, つまり“O=C”が成立するかどうかで文型を判断すればいいね。

N: そのとおり。ついでに言えば, S+V+Cの第2文型では, Cは名詞のほかには形容詞の場合もあったらう? **第5文型でも, 補語に形容詞がくることがあるんだ。**

★次にあげる例は, 補語が形容詞の第5文型の例である。どんな動詞が使われているか注意しながら見てみよう。

Mr. Mushanokoji believes his son diligent.

(武者小路氏は自分の息子が勤勉だと信じています)

He found Training Paper useful.

(彼はトレペが役に立つことができました)

You must keep your room clean.

(自分の部屋をきれいにしておかなければなりません)

What made you so angry?

(なぜそんなに怒っているのですか。←何があなたをそんなに怒らせたのですか)



### トレーニング

1 空所に名詞か形容詞を入れて, 日本語にあうS+V+O+Cの英文を完成させなさい。

(1) They named their son \_\_\_\_\_.

(彼らは息子を康成と名づけました)

(2) You must keep your hands \_\_\_\_\_.

(あなたは手を清潔にしていなければいけません)

(3) She left the door \_\_\_\_\_.

(彼女は戸を開けたままにしておきました) ▶ left < leave 「~のままにしておく」

(4) Father painted the fence \_\_\_\_\_.

(父はへいを白く塗りました)







【例題2】 次の文はS + V + O + C (= to不定詞)の文です。和訳してから、目的語と補語をそれぞれ( )に入れなさい。

1 They thought him to be a cheerful boy. ▶ cheerful 「元気な、快活な」

.....

2 I like my coffee to be hot.

.....



解答 1 彼らは彼のことを元気のよい少年だと思いました。

(目的語 him) (補語 to be a cheerful boy)

2 私はコーヒーは熱いのを好みます。

(目的語 my coffee) (補語 to be hot)

Y : OとCだけを取り出すと, 1 He was a cheerful boy. 2 My coffee is hot. となる。つまり“O=C”。だから第5文型。なるほど, なるほど。

N : この形の文では, to be が省略されて, Cがたんなる名詞や形容詞になってしまうことがよくあるんだ。そうすると, これまで見てきた文と同じになってしまうんだけどね。

★S + V + O + Cの文型で, Cがto be ~の形の場合, to be が省略されることがよくある。

They thought him (to be) a cheerful boy.

→ They thought him a cheerful boy.

I like my coffee (to be) hot. → I like my coffee hot.

トレーニング

4 次の文はS + V + O + Cの文です。和訳してから、目的語と補語をそれぞれ( )に入れなさい。

(1) Mr. Mushanokoji believes his son to be diligent.

.....

(2) I found the magazine to be interesting.

.....

(3) We want our neighbors to be honest.

.....



5 空所に補語としての不定詞を入れて、日本語にあうS + V + O + Cの英文を完成させなさい。

(1) My pen friend imagines me \_\_\_\_\_.

私のペンフレンドは私をハンサム(handsome)だと想像しています。

(2) Most students think their teacher \_\_\_\_\_.

ほとんどの学生は彼らの先生が貧しいと思っています。

N：最後に、**現在分詞(～ing)と過去分詞(-ed)がCになる場合**を取り上げよう。

Y：たしか第2文型のときにも、現在分詞や過去分詞がCになる場合があったよね。そういえば「～しながら座っている」なんてのを覚えてたっけなあ。(\*第4日参照)

N：あのとき、君は居眠りしながら座っていたんだ。それでぼくがしかったわけだけど、それを君のご両親がドア越しに聞いていらしたらしいんだな。勉強が終わって、お母さんが言ってくれたよ。「あの子どもときどきねじがゆるむので、あんなふうにしかってもらえるとありがたいです。」ってさ。

Y：もうやめてよ、その話。

N：いや、やめられないね。これからもっとしつこく追求するんだ。英文でね。

★次にあげる例は、補語が分詞の第5文型の例である。

■ 現在分詞の例

I saw you sleeping. (ぼくは君が眠っているのを見た)  
S V O C

I didn't leave you sleeping. (ぼくは君を眠ったままにしておかなかった)  
S V O C

■ 過去分詞の例

Mr. and Mrs. Mushanokoji heard their son scolded.  
S V O C

(武者小路夫妻は息子がしかられるのを聞いた)

They want their son scolded by me.  
S V O C

(彼らは息子がぼくにしかられることを望んでいる)



Y：ふーむ。たしかに sleeping は you が どういう状態にあるのかを表しているし、scolded は his son が どうされた状態であるのかを表している。ここでも“O=C”が成立するね。

N：ただし、OとCを中心にして書きかえてみると、これまでとはちがって、**現在分詞を使ったほうは進行形に、過去分詞を使ったほうは受動態になるんだ。**

You were sleeping. (君は眠っていた)

Their son was scolded by me. (彼らの息子はぼくにしかられた)

【例題3】 次の文はS+V+O+C(=分詞)の文です。和訳してから、目的語と補語をそれぞれ( )に入れなさい。

1 I have kept my boy friend waiting outdoors.

.....

2 Did you find your purse stolen?

.....



Y：気がついたんだけどね、きょう出てきた文のCになるもののうち、名詞と不定詞は名詞の役目をしているよね。そして最後の現在分詞や過去分詞は形容詞の役目をしていると思うんだけど…。そうすると、Cになるのは結局は名詞(の性格をもった)グループと、形容詞(の性格をもった)グループの2つなのかな。

N：えらい！ よくそこに気がついた。とくに現在分詞や過去分詞は、～ing や -ed の形が、そのまま形容詞として辞書にのっているものもあるくらいだ。

ところで、Cになるものに、もう1つ重要なものがあるんだ。原形不定詞といって、to がない、ただの動詞の原形なんだけれどもね。この使い方はちょっとややこしいので、この次にじっくり勉強しよう。じゃあ、最後にまとめのトレーニングだ。

### ==== まとめ の トレーニング =====

① ( )内を、指示のあるものはそれに従って〈目的語＋補語〉にして、例にならって書きかえなさい。

例 We call (he is “Little Michael”).

We call him “Little Michael.”

(私たちは彼を「リトル・マイケル」と呼んでいます)

(1) We named (the dog was Pochi).

.....  
(私たちはその犬をポチと名づけました)

(2) The news made (he was very angry).

.....  
(その知らせは彼をととても怒らせました)

(3) She always keeps (her room is clean).

.....  
(彼女はいつも部屋を清潔にしています)

(4) We believe (she is honest and diligent). [補語に to 不定詞を使って]

.....  
(私たちは彼女が正直でまじめだと信じます)

(5) We want (you are a cheerful boy). [補語に to 不定詞を使って]

.....  
(私たちはあなたが快活な少年であることを望みます)

(6) I have never seen (Mary was playing tennis). [補語に現在分詞を使って]

.....  
(私はメリーがテニスをしているところを見たことはありません)

(7) We heard (the door was knocked at). [補語に過去分詞を使って]

.....  
(私たちはドアがノックされるのを聞きました)

② 次の文はS + V + O + Cの文です。和訳してから目的語を( )に、補語を[ ]に、それぞれ入れなさい。

(1) Tom found the English book easy.

.....

(2) I like my coffee hot.

.....

(3) They believe their son to be honest.

.....

(4) Mother left me sleeping.

.....

(5) We often see cars washed.

.....

③ 次の文はS + V + O + O(第4文型)かS + V + O + C(第5文型)の英文です。それぞれ( )に第4文型か第5文型かを入れてから和訳しなさい。

(1) I can't lend you my pen. ( )

.....

(2) Lucy found him a kind man. ( )

.....

(3) He told the children an interesting story. ( )

.....

(4) I'll make you a small doll. ( )

.....

(5) The news made her sad. ( )

.....

## まとめと予告編

5文型もいよいよ最後の〈S + V + O + C〉にはいりましたね。いろいろとややこしい説明が続きましたが、それも次回でおしまいです。やれやれですね。

このあたりで、4月号についてお願いしておきたいことがあります。

**文法事項の解説や、列記された動詞(表を含む)などは、その場で丸暗記する必要はありません。でも例題やトレーニングには、必ず取り組んでください。**もちろん1問も残さずに、です。わからなかったところ、不正解だったところは消しゴムで消して、後日もう一度挑戦してください。無理を言うようですが、そうすることによって、暗記しなかったはずのことが頭の中で暗記以上の記憶となって残っていくのですから。

あしたは、**第5文型(その2)**です。こりずにまた、康成くんと喋子ちゃんちようこを話の種にしちゃおうかな、と考えています。

## 第 5 文型(その 2)

### 第 8 日 — O がどんな行為をするのかを表現する C —

(N) : さっき、君がテレビのうしろで何か  
ゴチャゴチャやっているのを見かけたけど…。

(Y) : ああ、お父さんに頼まれてテレビの  
修理をしていたんだ。もっとも、〈お父さんが  
ぼくに何かをさせたがっている〉というところ  
まではお母さんから聞いて、具体的な用事  
の内容は喋子ちやうこから聞いたんだけどね。

N : 喋子ちゃんもいっしょだったみたいだね。

Y : うん。あいつ、ぼくが修理するのをずっと  
見ていたんだ。よっほどヒマなんだな。

\* \* \* \*

N : さて、では前回に続いて S (主語) + V (動詞) + O (目的語) + C (補語) の文型について見ていく  
んだけど、だいぶややこしくなりそうだから、覚悟してくれよ。きょうの勉強は前回予告したよ  
うに、**知覚動詞**と**使役動詞**について、それから**補語になる原形不定詞**の 2 つが大きなテーマだ。

\* \* \* \*

知覚動詞ってなんだか覚えているかな。

Y : see (見る) とか hear (聞く) とかだよな。

N : そうだ。知覚動詞は感覚動詞ともいって、要するに五感 (見る, 聞く, かぐ, 味わう, 触れる)  
を表すための動詞だ。



【例題 1】 次の文は知覚動詞を使った S + V + O + C (=現在分詞) の文です。どんな動詞が使わ  
れているかに注意しながら和訳し、補語を( )に入れなさい。

1 I saw you repairing the television. ▶ repair 「修理する」

.....

2 I heard your mother calling you.

.....

3 I noticed Choko watching you eagerly. ▶ eagerly 「熱心に」

.....

4 I felt my heart beating wildly. ▶ beat 「(心臓が) 鼓動する」 wildly 「荒々しく」

.....

- 解答 1 私はあなたがテレビを修理しているところを見ました。  
(補語 repairing the television)
- 2 私はあなたのお母さんがあなたを呼んでいるのを聞きました。  
(補語 calling you)
- 3 私は喋子さんがあなたを熱心に見ていることに気がつきました。  
(補語 watching you eagerly)
- 4 私は心臓が激しく鼓動しているのを感じました。  
(補語 beating wildly)

Y: ほら, 全部できたよ。前回勉強したばかりのところだからね。

N: うん, なかなかえらい。では, それを発展させて新しいことを勉強するぞ。

★知覚動詞は, 第5文型の補語として, 分詞のほかに\*原形不定詞をとることができる。

\*原形不定詞……動詞の原形。to不定詞(to+動詞の原形)のtoのないもの。

I saw you **repair** the television. (私はあなたがテレビを修理するのを見た)

I heard your mother **call** you. (私はあなたのお母さんがあなたを呼ぶのを聞いた)

I noticed Choko **watch** you eagerly. (私は喋子さんがあなたを熱心に見るのに気づいた)

I felt my heart **beat** wildly. (私は心臓が激しく鼓動するのを感じた)

★補語が現在分詞の場合とでは意味にちがいがある。

(a) I saw you **repairing** the television. …… 動作の一部(途中)を見た  
(私はあなたがテレビを修理しているのを見た)

(b) I saw you **repair** the television. …… 動作の始めから終わりまで見ていた  
(私はあなたがテレビを修理するのを見た)

Y: つまり, おじさんは, ぼくが修理しているのを見かけたのだから

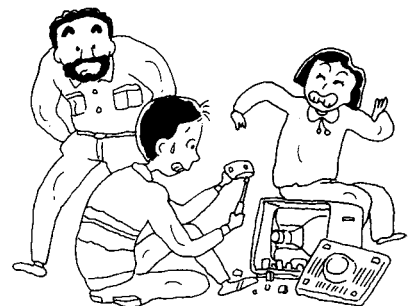
You saw me repairing the television.

で, 喋子はずっと見ていたのだから

Choko saw me repair the television.

というわけだね。

N: そのとおり。現在分詞は「(ある時点で)~している最中」という意味を表し, (原形)不定詞は, 動作そのものの全体を表しているんだ。ちょっとわかりにくいかもしれないけれど, 感じだけでもつかまえておいてくれよ。





トレーニング

1 ( )内を〈目的語+補語〉にして、例にならって書きかえ、S + V (=知覚動詞) + O + Cの英文を完成させなさい。

例 I saw (you repaired the television).

I saw you repair the television. (私はあなたがテレビを修理するのを見た)

(1) I heard (he played the piano). (私は彼がピアノをひくのをきいた)

(2) I noticed (my brother used my pen). (私は弟が私のペンを使うのに気がついた)

(3) I saw (someone climbed up the tree). (私はだれかがその木に登るのを見た)

(4) I felt (the ground shook). (私は地面が揺れるのを感じた) ▶ shake「揺れる」

2 次の文はS + V (=知覚動詞) + O + Cの文です。Cが現在分詞か原形不定詞かに注意して和訳しなさい。

(1) I saw you cross the road.

(2) I heard someone singing a beautiful song.

(3) Did you notice anyone come in?

Y：原形不定詞って、なんとなく頼りない感じがするなあ。

N：そうだね。とくに英作文をする場合、toとか-edとか、何かをつけたくなくなってしまうけれど、そこをじっとがまんして原形のままだにする。知覚動詞の場合は-ingをつけても(意味はちがうけれども)正しい英文になるけれど、これから勉強する使役動詞ではそうはいかない。

使役動詞とは「(SがOに)～させる」「(SがOに)～してもらう」という意味を表す動詞なんだ。have, get, make, letがあるんだけど、まずhaveとgetを見てみよう。

★使役動詞 have は、S + V + O + Cの文型で、Cに原形不定詞をとって「(SがOに)～させる、～してもらう」という意味を表す。

Mr. Mushanokoji has his son repair the television.

S V O C

(武者小路氏は息子にテレビの修理をさせます)

★使役動詞 get は、S + V + O + Cの文型で have と同じ意味を表す。ただし、get はCには to 不定詞をとる。

Mr. Mushanokoji **gets** his son **to repair** the television.

S V O C

(武者小路氏は息子にテレビの修理をさせます)

Y: どうして have は原形不定詞で, get は to 不定詞なの?

N: ほくも知らないね。こればかりは「そういうものなんだ」と, ただ覚えてしまうしかない。

トレーニング

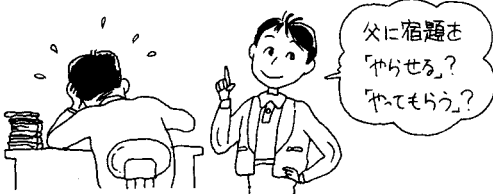
3 次の使役動詞 have, get を使った S + V + O + C の文を和訳し, 補語を( )に入れなさい。

(1) My father had me wash his car.

(2) He got his sister to do his homework.

(3) Have him paint the fence.

(4) I got Saburo to walk with me.



ちょっと、ひとこと

「～させる」と訳すか「～してもらう」と訳すかは, 文の内容や前後の文の関係によって考える。どちらともとれる場合はどちらでもよい。

4 次の S + V (=使役動詞) + O + C の英文では, C を( )に入れてあります。原形不定詞か to 不定詞を空所に補って, 英文を完成させなさい。

(1) I had her ( \_\_\_\_\_ my letter).

(私は彼女に手紙をタイプさせた) ▶ 「タイプする」 type

(2) I couldn't got him ( \_\_\_\_\_ smoking).

(私は彼にタバコをやめさせられなかった)

(3) He had his girl friend ( \_\_\_\_\_ his shirt).

(彼はガールフレンドにシャツをつくろってもらった) ▶ 「つくろう」 mend



N：さて、使役動詞 have と get の続きだが、今のはOが「人」でCが原形不定詞(have の場合)と to 不定詞(get の場合)だったね。こんどはOが「もの」でCが過去分詞の場合を見てみよう。

★使役動詞 have, get は、S + V + O + Cの文型で、Oに「もの」、Cに過去分詞をとって「Oを～してもらう、～させる」、または「Oを～される」という意味を表す。

I had my camera stolen in the train.

S V O C (=過去分詞)

(私は電車の中でカメラを盗まれた)

His teacher got the letter typed.

S V O C (=過去分詞)

(彼の先生はその手紙をタイプさせた)

「～してもらう」「～させる」「～される」は、文の内容や前後の文の関係によって訳し分ける。どれともとれる場合もある。

Y：上の文は、何だか受動態の文みたいだね。

N：そうだ。受動態の一種と考えてもいい。ただし、よくあるまちがいなんだけど、(×)I was my camera stolen. などとしてはいけない。こういうときには have を使うんだ、ということをよく覚えていてくれよ。

## トレーニング

5 ( )内を〈目的語+補語〉にして、例にならって書きかえ、S + V (=使役動詞) + O + Cの英文を完成させなさい。

例 I had (my camera was stolen) in the train.

I had my camera stolen in the train.

(電車の中でカメラを盗まれた)

(1) Mr. Backer had (his house was built by the carpenter).

(バックカー氏は彼の家をその大工さんに建ててもらった)

(2) Taro fought with some boys, and he had (his arm was broken).

(太郎は少年たちとけんかをして、腕を折られた)

(3) Our teacher has (the classroom is cleaned by us).

(私たちの先生は教室を私たちにそうじさせます)

(4) He got (his homework is done by his sister).

(彼は自分の宿題をお姉さんにしてもらった)

N: 今のトレーニングの(4)なんだけれど、どこかで見た文じゃないかい?

Y: ③の(2)の He got his sister to do his homework. とよく似てるね。

N: そうだよ。次の3つの文を見くらべてごらん。

① He got his sister to do his homework.  
S V O(「人」) C(to不定詞)

①' He had his sister do his homework.  
S V O(「人」) C(原形不定詞)

② He got(または had) his homework done by his sister.  
S V O(「もの」) C(過去分詞)

これらの文は、同じ意味を表しているのだけれど、Oの種類やV(haveかgetか)を置きかえただけで、英文がこんなにも変わってしまうということを見てほしいんだ。

\* \* \* \*

N: では、最後に、makeとletが使役動詞として使われる場合だ。

★使役動詞 make と let は、S + V + O + Cの文型で、Cに原形不定詞をとる。ただし、両者には内容の点で次のようなちがいがあある。

make..... 「人に(強制して)～させる」

let..... 「人に～するのを許す」→「やりたいことをさせる」

Mr. Mushanokoji makes his son study even in the morning.  
S V O C(原形不定詞)

(武者小路氏は朝も息子に勉強させる)

He didn't let Yasunari have a motorcycle.  
S V O C(原形不定詞)

(彼は康成にバイクをもたせなかった)

Y: うむ、現実をよくとらえたいい例文だなあ。それに、こんどはCは原形不定詞だけだし、意味も「～させる」か「～してもらう」かなどと悩まないですむから覚えやすいな。

N: そうだ。ただし、Cはto不定詞ではなく原形不定詞だ、ということであって、分詞や形容詞などがくる場合もあるんだよ。じゃあ、仕上げのトレーニングといきますか。

### トレーニング

⑥ ( )内を<目的語+補語>にして、例にならって書きかえ、S + V (make, let) + O + Cの英文を完成させなさい。

例 Mr. Mushanokoji makes (his son studies even in the morning).

Mr. Mushanokoji makes his son study even in the morning.

(武者小路氏は朝も息子に勉強させる)

(1) His story made (we all laughed). (彼の話は私たちみんなを笑わせた)

(2) Father let (I drove his car). (父は私に車を運転させてくれた)

(3) They made (she went there at once). (彼らは彼女をすぐそこへ行かせた)

(4) Let (I know more about you). (あなたのことをもっと教えてください)

N: これで5文型についての話も一とおり終わったなあ。どうだった? 8日間を振り返ってみて。

Y: 文型や文の要素の特徴が、5とおりの家族とそのひとりひとりのメンバーのイメージと重なって、頭の中にしっかり焼きついたって気がするよ。

ただ、それにしても、第3文型のときのタバコ屋さんの息子も、第4文型の金井さんちの2人の息子も、文型のモデルにはなったけれど、英文の中には登場していなかった。ぼくだけだよ、実名でやり玉にあげられたのは。きのうなんか、ひどいもんだった!

N: 君がそんなに傷ついていたとは知らなかった。安心したまえ。もう君をOにしたり、君のお父さんをSにするのはやめようじゃないか。読者の中に、ひょっとして、こんな思いちがいをしている人がいるかもしれない。「女性を表す単語はSやOになれない」って。

Y: まさかあ! そんな人、いないんじゃないの? Sというのは、文の中のあるじのようなもの。Oというのは、母親(V)の行為を受ける息子のようなもの……。おじさんは、そんなふうにととるつもりで、いろいろな家族の話をしてきたんだから。

N: 君は、ぼくのことを実によく理解してくれている。おじさん、とってもうれしい! 来月もがんばっていきましょう。

## ==== まとめのトレーニング ====

① 次のS+V+O+Cの文を和訳し、目的語を( )に、補語を[ ]に、それぞれ入れなさい。

(1) Mother made me a teacher.

(2) The news made me very sad.

(3) I made my children eat vegetables. ▶ vegetable「野菜」

▶(1)~(3)のmakeの意味・用法のちがいに注意しなさい。

(4) My father let me buy a motorcycle.

(5) I had my hat blown off. ▶ blow off「ふき飛ばす」 blow-blew-blownと活用する。

(6) I had my hair cut at the barber's. ▶ barber's「理髪店」

(7) I had the barber cut my hair.

.....

(8) I got the barber to cut my hair.

.....

▶(6)~(8)の意味と文の形のちがいに注意しなさい。

② ( )内を〈目的語+補語〉にして、S+V+O+Cの文に書きかえなさい。

(1) I felt (my interest rose). (私は興味がわくのを感じた)

.....

(2) I had (Tom carried my bag). (私はトムに私のかばんを運ばせた)

.....

(3) Taro had (his purse was stolen). (太郎は財布を盗まれた)

.....

(4) A policeman made (I stopped my car). (警官が私に車を止めさせた)

.....

③ 次の文を( )内の語を使って英語に直しなさい。

(1) きのう私は自分のワープロ(word processor)をこわされてしまいました。(have)

.....

▶「こわす」break break—broke—brokenと活用する。

(2) 彼は妹を本屋(bookstore)に行かせました。(have)

.....

(3) 私は弟たちが野球をしているのを帰宅の途中(on one's way home)見かけました。(see)

.....

## まとめと予告編

とうとう4月号も文法編のラストページになりましたよ。

おめでとう! そしてお疲れさま! よくここまでがんばってきましたね。

私は残念ながら、ここでお別れです。お別れと言いましても、5月号までのことですが。それまでのあいだ、どうか皆さん、部活やクラブの先輩とトラブルなどを起こして、やけにならないように、コンビニエンス・ストアで読みかけのコミック誌に自分の名前入りのしおりなど、はさんでこないように。

そして最後にもう1つ。——トレペ4月号のミステイクを、どうかそのままにしておかないようにね——と、いろいろなお願いをめいっぱいさせていただいて、5月号までのお別れの言葉といたします。

See you!



- (6) Is / this problem / difficult / to solve?
- (7) There / remains / a little money / in my pocket.
- (8) The earth / is / round / like a ball.
- (9) They / made / a special chair / for him.
- (10) In our country / Christmas / is / a religious holiday.

③ 次の語句を並べかえ、正しい英文を作りなさい。ただし、使わない語が1つあります。

(3点×5)

- (1) [ brother, in, slow, his, is, slowly, reading ]

.....

- (2) [ that lady's, smells, sweet, sweetly, hair ]

.....

- (3) [ his, his, a, him, bought, father, camera ]

.....

- (4) [ singing, the, a lot of, song, stood, people, sang ] (S + V + Cの文型で)

.....

- (5) [ lay, the mountain, snow, covered, covering, with ] (S + V + Cの文型で)

.....

④ 次の語群から適当な語を選び、空所を補って、意味のとおり文にしなさい。

(2点×5)

[ tastes, sounds, looks, turn, kept, like ]

- (1) The cake made by her husband ( ) too sweet.
- (2) His talk ( ) true.
- (3) Most leaves of the tree ( ) red before November.
- (4) She ( ) bored while her husband is fishing.
- (5) They ( ) silent while I was talking.



⑤ 次の文の文型を記しなさい。S + V, S + V + C, S + V + O, S + V + O + O, S + V + O + Cの記号で答えること。 (1点×13)

- (1) Have you ever climbed Mt. Fuji? { }
- (2) Linda is a girl with blue eyes. { }
- (3) Reading the magazine seems a lot of fun. { }
- (4) What did you tell to everybody in the village? { }
- (5) What do you call this flower in English? { }
- (6) She cooked her husband a nice dinner. { }
- (7) I think he is free now. { }
- (8) He came running out of the room. { }
- (9) The United States lies between Mexico and Canada. { }
- (10) How long are you going to stay in Japan? { }
- (11) He looks well today. { }
- (12) I hope to travel around the world. { }
- (13) After a storm comes a calm. { }

⑥ 次の文を日本語に直しなさい。 (3点×5)

(1) The rising sun seen from the top of the mountain was really great.

.....  
(2) The grass grew tall soon in summer.

.....  
(3) There broke out a fire near here last night.

.....  
(4) The city hall is in the center of the city.

.....  
(5) Don't keep watching TV so long.

## 7 次の文を英語に直しなさい。

(4点×5)

(1) このコーヒーは苦い味がする。

.....

(2) 彼のガールフレンドはカリフォルニア(California)で1972年に生まれた。

.....

(3) そのニュースはじきに知られるようになるでしょう。(become を使って)

.....

(4) 私は眠りながら座っていた。

.....

(5) その男の子は泣きながら母親のところへやって来た。

.....

トレペをスタートしての最初の確認テストでした。いかがでしたか。慎重に採点してみましょう。文型はこれからもよく使うものです。理解するのに十分なトレーニングと時間がかかるものですから、得点が低くても絶望的になったりせず、何がまちがっていたかに注目してください。あしたは、確認テストの2日目です。

## 確認テスト(2)

第10日

— 第5日～第8日の復習 —

きょうは確認テストの2日目です。学習項目は引き続き文型で、第3文型から第5文型です。高校にはいって、新しく習うことがらが続々と登場していますね。それらをしっかり確認すると同時に、中学で習った事項も、この機会にぜひいっしょにまとめて整理しておいてください。文型は、英文解釈での訳し方の説明や英作文などの説明にもよく使われます。SだのVだのと、もうんざり、と言わず、がんばってください。いつかきっと「便利だ!」とうなずくときが来るはずです。では、時間をsetして……。100点満点、60分です。

時間	60分	得点	<u>        </u> 点
			100

① 次の英文で、目的語のはたらきをしている語句に下線を引きなさい。

(1点×10)

- (1) I like to watch baseball games on TV.
- (2) He believes that Linda will invite him to dinner.
- (3) I like English and history.
- (4) Have you decided what to buy for your mother's birthday?
- (5) He hasn't finished writing his English book yet.
- (6) My mother always tells us that we should study hard.
- (7) His mother wants his son to be smart.
- (8) Linda kindly lent him her umbrella.
- (9) She asked me if Linda worked for a bank.
- (10) They elected him mayor.

② 次の文中の〔 〕内の語句を並べかえ、意味のとおり正しい文に直してください。 (3点×10)

(1) Mr. Ito [ know, do, that, time, what, at, to, didn't ].

.....

(2) Do you [ arrive, Bob, know, when, will ] in Japan?

.....

(3) I [ white, painted, doghouse, the ].

.....

(4) [ her, Tom, she, showed ] album.

.....

(5) [ the, the cold weather, red, leaves, turned ] last week.

.....

(6) He [ done, homework, his, his, sister, got, by ].

.....

(7) He told [ the, an, children, interesting ] story.

.....

(8) My girlfriend [ to, often, writes, a long letter, me ].

.....

(9) [ have, travel, made, airplanes ] more comfortable.

.....

(10) [ you, wealth, make, cannot ] a great man.

.....

③ 次の英文の文型は、S + V + O, S + V + O + O, S + V + O + Cのうちのどれにあたるか答えなさい。 (1点×10)

(1) That nurse will tell you where to go next. ( )

(2) He asked when to start for London last night. ( )

(3) They don't want their son scolded. ( )

(4) I smell something burning in the kitchen. ( )

(5) I think work for a newspaper is quite interesting. ( )

(6) I found him a good seat in the theater yesterday. ( )

(7) My mother will make me a good cook. ( )

(8) My uncle had to pay the bookseller ten dollars. ( )

(9) My father got me to wash his car. ( )

(10) I advised him to go to bed early. ( )

④ 次の文中の( )に適語を入れ、英文を完成させなさい。(1点×5)

- (1) She told the story ( ) us.
- (2) I lent my new bicycle ( ) Tom for an hour.
- (3) He bought a new dress ( ) his wife.
- (4) Let's find the missing boy ( ) his parents.
- (5) We asked several questions ( ) him.

⑤ 次の文中の空所に適当な語を入れ、日本語にあう英文にしなさい。(2点×5)

- (1) I don't know \_\_\_\_\_ to the party.  
(私は彼がパーティーに来るかどうかわかりません)
- (2) Do you know \_\_\_\_\_ the train \_\_\_\_\_ ?  
(あなたは何時にその列車が出発するか知っていますか)
- (3) I don't think \_\_\_\_\_ fine tomorrow.  
(私はあしたは天気にならないだろうと思います)
- (4) The teacher asked \_\_\_\_\_ for school.  
(その先生は彼女がなぜ学校に遅れたのかとたずねた)
- (5) They will understand \_\_\_\_\_ English well.  
(彼らは私が英語をじょうずに話せることを理解するでしょう)

⑥ 次の文を日本語に直しなさい。(3点×5)

- (1) When the teacher asked the students the question, Linda put up her hand.  
.....
- (2) Everybody in his class thinks Saburo to be the best speaker of English.  
.....
- (3) I want the letter typed correctly and mailed at once.  
.....
- (4) She didn't know where and when to get together.  
.....
- (5) Mr. Ito had his son repair the television.  
.....

## 7 次の文を英語に直しなさい。

(4点×5)

(1) 君は腕時計をどこで修理してもらったのですか。 ▶「修理する」repair

.....

(2) 私の姉はそのケーキの作り方を知らない。

.....

(3) 友人をそんなに長く待たせてはいけません。(keepを使って)

.....

(4) 私は赤ん坊がその部屋で眠っているのを見た。

.....

(5) 私はきのう財布を盗まれた。(hadを使って) ▶「財布」purse

.....

これで2回めの確認テストは終わりました。手ごたえはいかがでしたか？

文型の理解が不十分な人は、さらに学習を続けてください。むずかしい英文もなんのその……となることを期待しています。あしたからは読解編です。また、がんばりましょう。

**MEMMO**

# 読解編

4月のメニュー

## *I Would Like To Be A Writer*

編集者は、なぜある作家志望者の作品を  
全部読まないで返したのだろう

## *Lazybones Day*

オランダの子どもたちのお祭り  
「なまけ者の日」のほんとうの目的とは？

## *Getting Around in New York*

地図を片手にニューヨークはマンハッタン島を  
気ままに歩きまわってみよう！

## *Dickens and his Cat*

ある晩ディケンズが本を読んでいると  
突然ろうそくの明かりが消え…!?

### 読解編の使い方

#### 1. テキストを読む

とにかくまず、全文を読んでください。「長いなー」と感じるかもしれませんが、読みあげることが力になります。

#### 2. CHECKする

さて、1度読みあげたところでどのくらい内容がつかめたか、試してみましょう。0点でもくじけないで。

#### 3. 1 / 3 ずつていねいに読む

つぎにテキストを3回に分けて、もう1度読んでいきましょう。今度は一文一文の意味をじっくり考えながら、和訳のトレーニングなどで力をつけます。

#### 4. もう1度テキストを読む

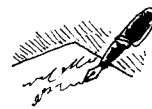
おそらくテキストの内容はほぼつかめたはず。では新たな気持ちでもう1度全文を読みましょう。読みながら訳がスラスラ出てきたり、情景が浮かんでくればたいしたものです。「味わう」ことができればベスト。

#### 5. まとめのトレーニングをする

最後に、今日のテキストをどれだけ理解できたか、50点満点で試してみましょう。



## 第11日 I Would Like To Be A Writer



きょうはある小ばなしを読みます。小ばなしには、たいてい最後に「落ち」があります。注意して読んでいないと、何のことかわからずに終わってしまったりすることがあります。これは日本語で読んでいても英語で読んでいても同じことです。では、少しばかり注意しながら、きょうの小ばなしを読んでください。「落ち」が読みとれれば成功です。

■ 意味をとらえながら今日のテキストを読みなさい。

Many people think that they can write stories. They **would like to be writers**. They write stories and send them to **magazines**. When the magazines do not **accept** the stories, these people become **angry**.

A lady **once** wrote a long story. She **sent** it to a famous **editor**. After a few weeks the story was **returned** to her. The lady was **angry**. She **wrote to** the editor: "**Dear Sir**: Yesterday you sent back a story of mine. How do you know that the story is not good? You did not read it. Before I sent you the story, I **pasted together** pages 18, 19 and 20. This was a test to see **whether** you would read the story. When the story came back yesterday, the pages were **still** pasted together. Is this **the way** you read all the stories that are sent to you?"

The editor wrote back: "**Dear Madam**: At breakfast when I open an egg, I don't have to eat all the egg to discover that it is **bad**."



**would like to** ~

~したい

**writer** *n.* 作家

**magazine** *n.* 雑誌

**accept** [əksépt] *vt.*

受け入れる

**angry** [æŋgri] *a.*

腹を立てた

**once** *ad.* あるとき

**sent** *vt.*

send(送る)の過去形

**editor** [éditə] *n.*

編集者

**return** *vt.* 返送する

**write to** ~

~に手紙を書く

**Dear Sir**:

**Dear Madam**:

拝啓

**paste** [peist] **together**

のりではり合わせる

**whether** [hwéðə] ~

*conj.* ~かどうか

**still** *ad.* まだ

**the way** やり方, 方法

**bad** *a.* 腐っている

「落ち」が読みとれましたか。では内容についてチェックしていきましょう。

**CHECK**

答えは下

下の問いに答えなさい。

check

- (1) 自分が物語を書けると思っている人たちは、何になりたいと思っていますか。
- ア) 画家 イ) 政治家 ウ) 作家
- (2) その人たちは、自分の物語が雑誌に受け入れられないと、どうしますか。
- ア) 問題点を検討し、書き直す  
イ) 腹を立てる
- (3) ある有名な編集者に物語を送った婦人は、その物語が全部は読まれなかったことが、どうしてわかったのですか。
- ア) 封も切らずに、送った状態のまま返送されたから  
イ) 送る前にはり合わせたページの一部が、戻ってきたときも、はり合わされたままだったから
- (4) どうしてこの編集者は、婦人の物語を全部読まなかったのですか。
- ア) 物語の一部を読んだだけで、それがよい作品ではないことがわかったから  
イ) 物語のページの一部がのりではり合わせてあったので、どうしても読めなかったから

いくつできましたか。

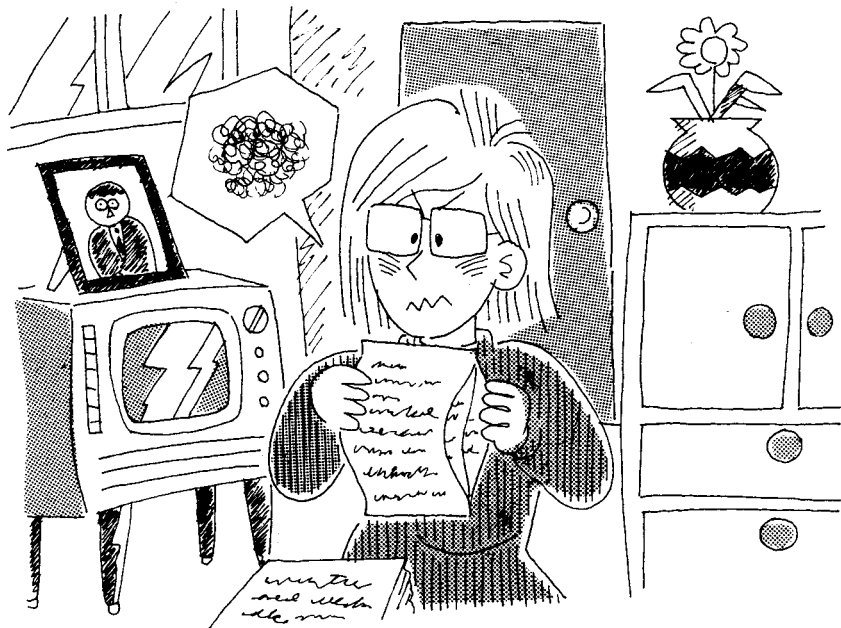
後半の部分がちょっとむずかしかったですね。

それでは読解のヒントを読んで、トレーニングに進みましょう。

4

◆ 読解のヒント ◆

編集者が自分の作品を読むかどうかをテストするために、そのページの一部をのりではり合わせる婦人もさることながら、婦人の抗議に対して、ひじょうに痛烈な、しかしウィットに富んだ返事をした編集者の機知には思わず感嘆してしまいます。最後の編集者の手紙がこの小ばなしの「落ち」になっていましたね。



CHECK の解答 (1) ウ (2) イ (3) イ (4) ア

## トレーニング

テキスト全体を3つに分けて細かいところまでしっかりと読んでみましょう。

Many people think that they can write stories. ① They would like to be writers.  
They write stories and send them to magazines. ② When the magazines do not accept  
the stories, these people become angry.

### 1 上の文を読んで次の問いに答えなさい。

- (1) 下線部①を訳しなさい。

▶ would like to ~は「～したい」だが、want to ~よりていねいな表現である。

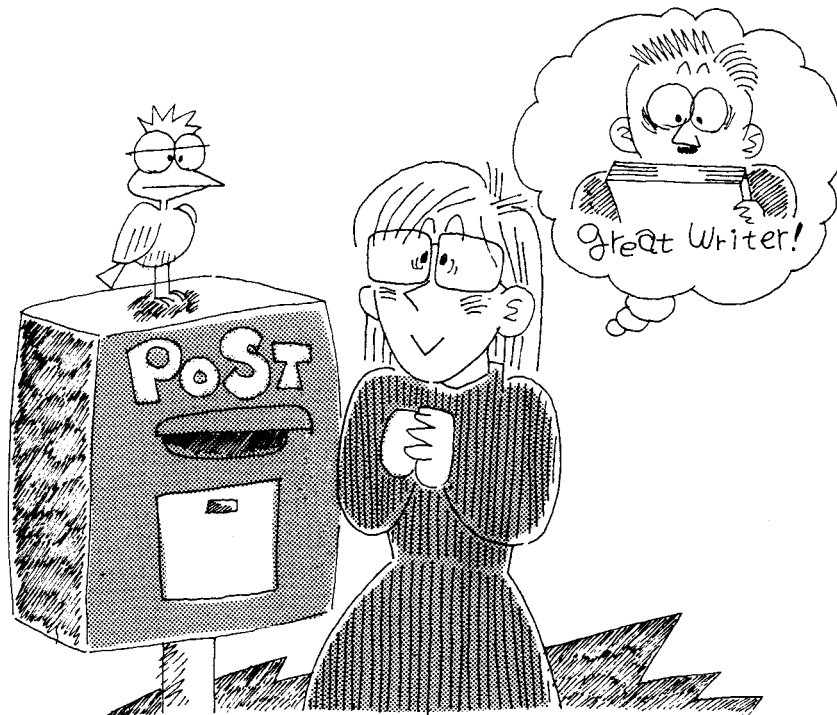
- (2) 下線部②を訳しなさい。

### 2 次の問いに答えなさい。

- (1) 自分が物語を書くことができると思っている人たちは、何になりたいと思っていますか。
- (2) それらの人々は、自分が書き送った物語が雑誌に受け入れられないと、どうしますか。

### 3 次の文は英文の全訳です。空所を補って完成しなさい。

自分がア( )を書くことができると思っている人たちはたくさんいる。そういう人たちはイ( )になりたいと思っている。彼らは物語を書いてウ( )に送る。その雑誌がその物語を受け入れないと、これらの人々は腹を立てるのだ。



次の1/3です。ある作家志望の婦人も、有名な編集者に自分の物語を送りますが…。さて、どうなるでしょうか。

A lady once wrote a long story. She sent it to a famous editor. ① After a few weeks the story was returned to her. The lady was angry. She wrote to the editor: "Dear Sir: Yesterday you sent back a story of mine. ② How do you know that the story is not good? You did not read it. Before I sent you the story, I pasted together pages 18, 19 and 20. ③ This was a test to see whether you would read the story. When the story came back yesterday, the pages were still pasted together. ④ Is this the way you read all the stories that are sent to you?"

4 上の文を読んで次の問いに答えなさい。

(1) 下線部①を訳しなさい。

▶ after a few weeks は「2, 3週間後」

(2) 下線部②を訳しなさい。

(3) 下線部③を訳しなさい。

▶ test は「確かめるためのもの」。 see は「調べる」。 whether ～は「～かどうか」。

(4) 下線部④を訳しなさい。

▶ Is this the way ～? は「これが～するやり方ですか」、つまり「こういうやり方で～するのですか」。

5 編集者が物語を全部読まなかったことを、婦人はなぜわかったのでしょうか。

6 次の文は英文の全訳です。空所を補って完成しなさい。

あるとき、ある婦人がア( )を書いた。彼女はそれをあるイ( )のところに送った。2, 3週間後、その物語は彼女のもとに返送されてきた。婦人は怒った。彼女はその編集者に手紙を書いた。「拝啓。きのうあなたは私書いた物語を返送されましたね。その物語がよろしくないということがどうしておわかりになるのですか。あなたはそれをお読みになりませんでした。私はその物語をあなたに送る前に、18・19・20ページをのりではり合わせておいたのです。これは、あなたがその物語を読むかどうかを調べるためにしたことでした。きのうその物語が戻ってきたとき、そのウ( )はまだのりではり合わされたままでした。あなたはあなたのもとに送られた物語を全部、こういうやり方で読むのですか。」

最後の1/3に進みましょう。編集者はなぜ、婦人の物語を全部読まないで送り返したのでしょうか。

The editor wrote back : “Dear Madam : At breakfast when I open an egg, I don't have to eat all the egg to discover that it is bad.”

7 下線部を訳しなさい。

▶ not ~ all (部分否定)は、全部は食べる必要はない(一部食べる)ことを意味するのであって、まったく何も食べないのではない。to discover は「知るために」という副詞用法の不定詞。

8 編集者はなぜ、婦人の物語を全部読まないで送り返したのでしょうか。

9 次は英文の全訳です。空所を補って完成しなさい。

編集者は返事を書いた。「拜復。ア( )で卵を割って、その卵をイ( )食べてみなくても、それがウ( )ことを知ることはできます。」



編集者が婦人の物語を全部読まないで送り返した理由は、わかりましたか。ではまとめのトレーニングに移りましょう。

10 もう一度テキストを読みなさい。

Many people think that they can write stories. They would like to be writers. They write stories and send them to magazines. When the magazines do not accept the stories, these people become angry.

A lady once wrote a long story. She sent it to a famous editor. After a few weeks the story was returned to her. The lady was angry. She wrote to the editor: "Dear Sir: Yesterday you sent back a story of mine. How do you know that the story is not good? You did not read it. Before I sent you the story, I pasted together pages 18, 19 and 20. This was a test to see whether you would read the story. When the story came back yesterday, the pages were still pasted together. Is this the way you read all the stories that are sent to you?"

The editor wrote back: "Dear Madam: At breakfast when I open an egg, I don't have to eat all the egg to discover that it is bad."

————— まとめトレーニング ————— ( /50点)

- (1) 本文の内容に合うように a, b, c の中から正しいものを選んで空所に書き入れなさい。  
(答えには記号を用いないこと) (各7点×4=28点)
- ア) There are many people who think \_\_\_\_\_.  
a) they can write stories    b) they can become editors  
c) they can write to editors
- イ) A lady once wrote a long story, and sent it to \_\_\_\_\_.  
a) a well-known editor    b) a famous lady  
c) a great teacher  
▶ well-known は「有名な」
- ウ) The lady pasted together pages 18, 19 and 20 before sending her story.  
It was a test to see \_\_\_\_\_.  
a) whether the editor would write to her  
b) whether the editor would be angry  
c) whether the editor would read the story
- エ) When the editor read her letter, \_\_\_\_\_.  
a) he opened an egg at breakfast  
b) he wrote back to her  
c) he did not write back to her
- (2) 次の4つの日本文の中で、本文の内容と一致するものを1つ選びなさい。 (7点)
- (ア) 編集者は、ぜんぜん読みもしないで、物語を返送した。  
(イ) 編集者は、全部読んだがよくなかったので、物語を返送した。  
(ウ) 編集者は、一部読んだだけで不出来だったので、物語を返送した。  
(エ) 編集者は、試されるしかけがしてあったので腹を立てて、物語を返送した。

- (3) 編集者は婦人に卵の例を使って何を伝えたかったか述べなさい。 (8点)

- (4) 本文は次のどれに当たるとお思いますか。1つ選びなさい。 (7点)

- (a) a beautiful story    (b) an exciting story  
(c) a strange story    (d) a long story  
(e) a humorous story

どうでしたか。編集者の婦人への返事は、柔らかい口調ながら、痛烈な皮肉がこめられていましたね。この返事をもらった婦人は、ますます腹を立てたでしょうか。それともみごとな切り返しに対して思わず納得してしまったのでしょうか。

あしたはオランダのあるお祭りの話を読みます。

# みんなのも読んだら？

海外を旅した時に私たちが目にする英語は、レストランのメニューだったり、お店の看板やバスの時刻表、案内標識だったり。この料金表もそういった「生の英語」の1つです。

さて、下の漫画を見てください。ここはカナダのケベックに近い、あるホテルのフロント。中国人の4人家族が、フロント係に何やらたずねていますね。さて、フロント係は何と答えたいでしょうか？ 料金表を見ながら、下の①～④の中から選びましょう。

Room	Single	Twin
Mountain view (1 day)	105.50\$	151.50\$
Lake view (1 day)	111.50\$	157.50\$
Superior lake view (1 day)	—	161.50\$
Family suite (1 day)	(4 persons)	284.00\$
Apartment with kitchen	(4 persons / 5 days)	1,529.00\$



- ① You can take 2 twin rooms with a view of the mountain for 5 days.
- ② You can take 2 twin rooms with a view of the lake for 5 days.
- ③ You can take a family suite for 5 days.
- ④ You can take an apartment with kitchen for 5 days.

答えは、次ページ下



第12日

Lazybones Day



私たちはなまけると親や先生にしかられ、頭をかきながら「ごめんなさい、これから気をつけますから」などと言ったりしています。ところで、オランダには「なまけ者の日」というお祭りがあり、その日になまけていると大損をすることになります。一体、どんな習慣があるのでしょうか、またその日がどうしてできたのでしょうか。

■ 意味をとらえながら今日のテキストを読みなさい。

Are you a **lazybones**? If you are, you have to **treat** your friends **to** candy or cake on Lazybones Day.

In the Netherlands, that is the day for Lazybones cakes. Lazybones cakes are hot cakes with syrup on top.

Early in the morning you and your friends march through the streets and make as much noise as you can. You shout, you whistle, and you bang on **pots and pans**. When you ring a doorbell and find a boy or girl asleep, you shout, *Lazybones, lazybones, tucked in his bed!* And for being a **sleepyhead**, a poor lazybones has to pay you with candy or cake.

When everyone is awake, you go to the market place. You eat **gingerbread**, ice cream, and Lazybones cakes.

Lazybones Day started long ago because of a man named **Piet Lak**. Piet Lak was a watchman who fell asleep while **enemies** marched into the Netherlands. After that, the people called him Lazy Lak. Now children remember Lazy Lak by making as much **hullabaloo** as they can early in the morning on Lazybones Day, about seven weeks after **Easter**.

**lazybones** [léizibðunz]

*n.* なまけ者(単数扱い)

**treat** ~ to ...

~に...をおごる

**pots and pans**

なべかま類

**tuck** [tʌk] *vt.*

夜具にくるむ

**sleepyhead** [slíp:pihèd]

*n.* 眠たがり屋, お寝坊さん

**gingerbread**

[dʒíndʒəbrèd] *n.*

ショウガ入り菓子パン

**Piet Lak** [pít lʌk]

ピート・ラック(オランダの見張り)

**enemy** [énəmi] *n.* 敵

**hullabaloo** [hʌləbəlù:]

*n.* 大騒ぎ

**Easter** [í:stər] *n.*

復活祭(春分後の最初の満月の次の日曜日に行われる)



大意はつかめましたか。前半は「なまけ者の日」の子供たちの習慣が描かれ、後半はその日の由来について書かれていましたね。では内容についてチェックしてみましょう。

**CHECK** 答えは下

下の問いに答えなさい。

check

- (1) 「なまけ者の日」になまけていると、その人は何をしなければなりませんか。 
  - ア) 二度としないと行ってあやまる
  - イ) 通りを歩いて大騒ぎをする
  - ウ) キャンディやケーキをおごる
- (2) 「なまけ者」とは具体的にどういう人のことですか。 
  - ア) 寝坊している人
  - イ) 通りで騒いでいる人
  - ウ) ケーキを食べている人
- (3) みんなが起きてしまう頃になると、子供たちはどこへ行きますか。 
  - ア) なまけ者の家
  - イ) ピート・ラックの家
  - ウ) 市場
- (4) ピート・ラックとはどういう人ですか。 
  - ア) なまけ者ケーキを作ったという見張り
  - イ) 見張りをしながら居眠りをして、敵の侵入を許してしまった人
  - ウ) 立派な見張りをして、なまけ者に対してお手本となった人
- (5) このお祭りの意味は何ですか。 
  - ア) ピート・ラックを思い起こすこと
  - イ) 復活祭を迎えること
  - ウ) 大騒ぎをすること

いくつ答えられましたか。途中でわからないところがあっても、とにかく最後まで読み通すことが大切なのです。

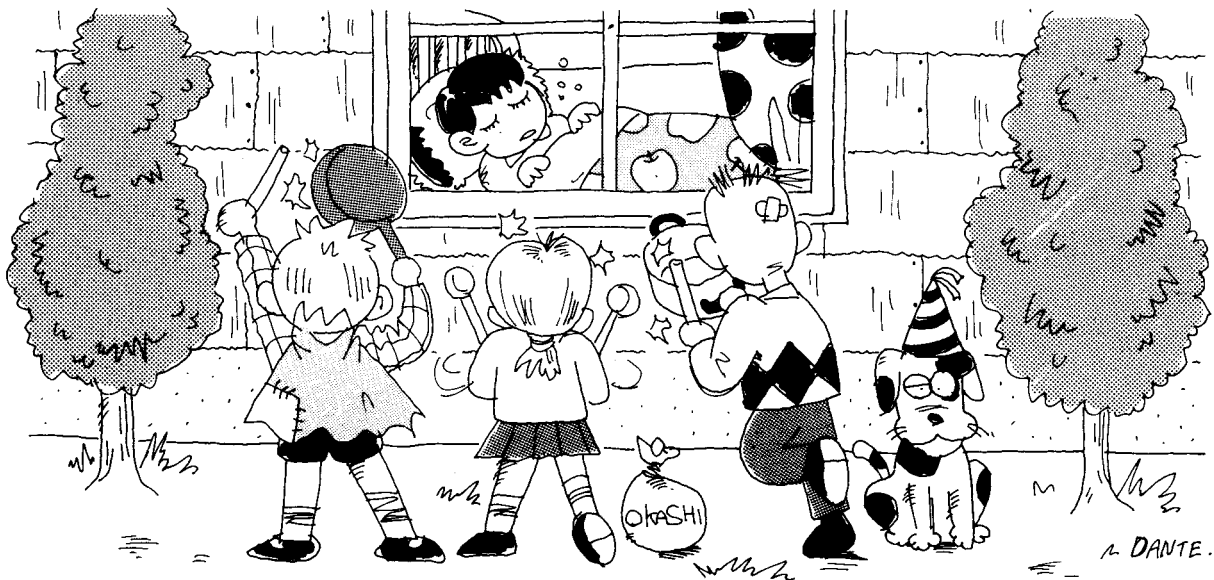
5
---

◆ 読解のヒント ◆

知らない国の知らない話。できるかぎりの想像力を駆使して、情景を思い浮かべながら読んでいこう。

◆ 出典紹介 ◆

“THE ROOTS OF WORDS «ことばのはじめ»” (金星堂)より。



CHECK の解答 (1) ウ (2) ア (3) ウ (4) イ (5) ア

## トレーニング

最初の $\frac{1}{2}$ を読みましょう。ここでは、ひとつひとつの文の意味をきちんととらえて訳せるようになることが目的です。さて、「なまけ者の日」とはいったいどんなことをする日なのでしょうか？

Are you a lazybones? ⑦ If you are, ① you have to treat your friends to candy or cake on Lazybones Day.

In the Netherlands, that is the day for Lazybones cakes. ② Lazybones cakes are hot cakes with syrup on top.

Early in the morning you and your friends march through the streets and ① make as much noise as you can. You shout, you whistle, and you bang on pots and pans.

### 1 上の文を読んで次の問いに答えなさい。

- (1) 波線部⑦の are の後ろに補うことのできる 2 語を書きなさい。 ( )
- (2) 下線部①を訳しなさい。  
.....
- (3) 下線部②を訳しなさい。  
.....
- (4) 波線部①は具体的にどのようなことをするのか、日本語で説明しなさい。  
( )

### 2 次の問いに英語で答えなさい。

- (1) What does a lazybones have to do on Lazybones Day?  
.....
- (2) What kind of cakes are Lazybones cakes?  
.....
- (3) Do children get up early on Lazybones Day?  
.....
- (4) What do they bang on while they are walking through the streets?  
.....

### 3 次の文章は英文の全訳です。空所を補って完成しなさい。

あなたはア( )ですか。もしそうなら、あなたはなまけ者の日に友だちにキャンディやケーキをおごらなければならない。

イ( )では、その日はウ( )の日なのである。なまけ者ケーキとは上にシロップのかかったホットケーキである。

エ( )あなたや友だちたちは街路を行進し、オ( )大騒ぎする。叫んだり、口笛を吹いたり、カ( )をたたく。

——情景を思い浮かべながら読んでますか？

次の½に進みましょう。この日には子供たちは早起きをして、大騒ぎしながら街中を歩きまわるようです。はて、その目的は何でしょうか…？

When you ring a doorbell and ① find a boy or girl asleep, you shout, ⑦ Lazybones, lazybones, tucked in his bed! And ② for being a sleepyhead, a poor lazybones has to pay you with candy or cake.

When everyone is awake, you go to the market place. You eat gingerbread, ice cream, and Lazybones cakes.



4 上の文を読んで次の問いに答えなさい。

(1) 下線部①を訳しなさい。

▶ <find + O + C> で第5文型の文。

(2) 波線部⑦はだれがだれに対して言うことばなのか、日本語で答えなさい。

(

▶ tucked は過去分詞で、前に he is を補って考えるとよい。

(3) 下線部②を訳しなさい。

▶ pay は「お返しをする」という意味で、前の for ~ は「~であることの罰として」と考える。

5 次の問いに英語で答えなさい。

(1) Why do children make as much noise as they can on the streets?

▶ To ~ で答える。

(2) When children find a boy sleeping in his bed, what do they shout?

(3) What does a sleepyhead have to pay his friends with?

(4) What do children do at the market place?

6 次の文章は英文の全訳です。空所を補って完成しなさい。

ア( )を鳴らして男の子や女の子が眠っているのをみつけると、「なまけ者、なまけ者、ベッドの中にイ( )！」と叫ぶ。そして、ウ( )であることの罰として、エ( )なまけ者はキャンディやケーキをおごらなければならない。みんなが起きる頃になると、オ( )へ行く。ショウガ入り菓子パンやアイスクリームやなまけ者ケーキを食べる。

いよいよ最後の1/3に進みましょう。「なまけ者の日」というお祭りは一体どのようにしてできたのか——その答えとなる人物が登場します。

Lazybones Day started long ago ⑦ because of a man named Piet Lak. ① Piet Lak was a watchman who fell asleep while enemies marched into the Netherlands. ② After that, the people called him Lazy Lak. Now ③ children remember Lazy Lak by making as much hullabaloo as they can early in the morning on Lazybones Day, about seven weeks after Easter.

**7** 上の文を読んで次の問いに答えなさい。

(1) 波線部⑦を次のように書きかえるとき、空所に適する語を入れなさい。  
because ( ) ( ) a man named Piet Lak

(2) 下線部①を訳しなさい。

(3) 下線部②を訳しなさい。

▶ 第5文型の文

(4) 下線部③の文を1か所区切るとすればどこが適当ですか。  
ア) by making の前      イ) as they can の前      ウ) early in the morning の前

**8** 次の問いに英語で答えなさい。

(1) What was Piet Lak?

(2) Could he watch enemies?

(3) What did he do while enemies marched into the Netherlands?

(4) What was he called after failing in his duty?

(5) Do children remember him on Lazybones Day now?

**9** 次の文章は英文の全訳です。空所を補って完成しなさい。

なまけ者の日はピート・ラックという名の人のためにア( )始まった。ピート・ラックは敵がオランダに侵入してくる間に眠り込んでしまった見張りであった。その後、人々は彼をなまけラックと呼んだ。現在子供たちは、復活祭のイ( )にあたるなまけ者の日の朝早くにウ( )大騒ぎをすることによって、なまけラックをエ( )。



テキストはもう十分に理解できましたね。

では最後にもう一度テキストを読んでまとめのトレーニングをやってみましょう。

**10** もう一度テキストを読みなさい。

Are you a lazybones? If you are, you have to treat your friends to candy or cake on Lazybones Day.

In the Netherlands, that is the day for Lazybones cakes. Lazybones cakes are hot cakes with syrup on top.

Early in the morning you and your friends march through the streets and make as much noise as you can. You shout, you whistle, and you bang on pots and pans. When you ring a doorbell and find a boy or girl asleep, you shout, *Lazybones, lazybones, tucked in his bed!* And for being a sleepyhead, a poor lazybones has to pay you with candy or cake.

When everyone is awake, you go to the market place. You eat gingerbread, ice cream, and Lazybones cakes.

Lazybones Day started long ago because of a man named Piet Lak. Piet Lak was a watchman who fell asleep while enemies marched into the Netherlands. After that, the people called him Lazy Lak. Now children remember Lazy Lak by making as much hullabaloo as they can early in the morning on Lazybones Day, about seven weeks after Easter.

==== まとめのトレーニング =====

( /50点)

- (1) 本文の内容にあわせて空所に適語を補いなさい。 (各 3 点 × 5 = 15 点)

You have to get up ①( ) on Lazybones Day. If you are in your bed, you have to ②( ) your friends to candy or cake. Because you are a lazybones.

Early in the morning children march through the streets, making as much ③( ) as possible. They try to find a boy who is ④( ) in his bed. A lazybones means a ⑤( ).

- (2) オランダに「なまけ者の日」ができたのはなぜか、日本語で説明しなさい。 (10 点)

- (3) 次の各文が本文の内容と合えば○を、合わなければ×をつけなさい。 (各 5 点 × 5 = 25 点)

ア) If you are a lazybones, you can eat Lazybones cakes which are given by your friends.

イ) Early in the morning children walk through the streets to find sleepyheads, and after that go to the market place with them.

ウ) Piet Lak fell asleep while he was watching enemies on Lazybones Day.

エ) Today children make as much noise as they can on Lazybones Day, but they don't remember Lazy Lak any longer.

オ) Lazybones Day comes after Easter.

きょうのテキストの話はいかがでしたか。オランダの子供たちはこんなお祭り騒ぎをするのですね。

あしたは、大都会ニューヨークの話です。地図を片手に歩きまわしましょう。

では、さようなら。



## 第13日 Getting Around in New York

「ぶたの親分」はボストン、「犬の顔をもつ七面鳥」はケンタッキー、「おふろに入る」のはニューヨーク——こんなことば遊びが昔はやったものです。きょうはニューヨークの中の一地区であるマンハッタンを歩いてみることにしましょう。大都市ニューヨークがいかに活気にあふれているか、少しの間その雰囲気にとらえてみてください。

■ 意味をとらえながら今日のテキストを読みなさい。

It is easy to find your way in Manhattan. Most streets go east and west. They do not have names. They have numbers. Most **avenues** go north and south. Some avenues have names and some have numbers.

Look at the map on the next page. Central Park is in the middle of Manhattan. Can you find Fifth Avenue on the east side of Central Park? Everything to the east of Fifth Avenue is called the *East Side*. Everything to the west is the *West Side*.

The words *uptown*, *downtown* and *crosstown* are important in Manhattan. *Uptown* means north. *Downtown* means south. *Crosstown* means east or west.

New York has an underground railway. It is called the subway. There are many different subway lines in New York. In Manhattan, most of them go north and south.

All subway rides cost the same. A long ride does not cost more than a short one. First you buy a subway **token**. Then you **pay for your ride** with the token.

There are buses on most avenues in Manhattan. There are also buses on the large crosstown streets. You can pay for your bus ride with a subway token or with coins. But you must have the right coins. Bus drivers do not make change. All of the subways and most of the buses run twenty-four hours a day.

You can see taxis in New York very easily. They are usually yellow. Some drivers are women.

**avenue** [ævənju:] *n.*

大通り

**token** [tókən] *n.*

(地下鉄やバスで使う)代  
用硬貨

**pay for your ride**

乗車賃を払う





目標どおり大意はつかめたでしょうか。ピリオドがたくさん目につきましたね。短い簡潔な文の連続でわかりやすかったことと思います。さあ大体の内容についてチェックしてみましょう。

**CHECK**

答えは下

次の文中の( )内の正しい方を選びなさい。

check

- (1) 東西に走っている道路は(㉗ ストリート, ㉘ アヴェニュー)といい, 南北に走っている道路は(㉗ ストリート, ㉘ アヴェニュー)という。
- (2) セントラル・パークは(㉗ ニューヨーク, ㉘ マンハッタン)の中央に位置している。
- (3) 地下鉄の長距離と短距離の乗車賃は(㉗ 同じである, ㉘ 違う)。
- (4) 乗車するのに代用硬貨しか使えないのは(㉗ 地下鉄, ㉘ バス)である。
- (5) バス賃をコインで支払う時は小銭を用意する必要がある(㉗ ある, ㉘ ない)。
- (6) 地下鉄とバスは深夜(㉗ も動いている, ㉘ は動いていない)。
- (7) タクシーは利用(㉗ しやすい, ㉘ しにくい)。

いくつ正解でしたか。

見のがしてしまったところはありませんでしたか。もしあったとしても、一回目はかまいません。次のページからもっと詳しく読んでいきましょう。

日本の大都市の事情と比較してみるとよいと思います。

8

◆ 読解のヒント ◆

平易な文章ながら多くの情報が盛りこまれた解説文。一文一文の意味を把握しながら読みすすめていくこと。

◆ 出典紹介 ◆

Betsy Pennink 著 "This is New York" (Heinemann Educational Books) より。

CHECK の解答 (1) ㉗, ㉘ (2) ㉘ (3) ㉗ (4) ㉗ (5) ㉗ (6) ㉗ (7) ㉗





次の 1 / 3 に進みましょう。あることばがその地域特有の重要な意味をもつ場合がありますね。マンハッタンの場合はどうでしょうか。さらにここでは、悪名高きニューヨークの地下鉄が登場します。

The words ㉞ uptown, downtown and crosstown are important in Manhattan. *Uptown* means north. *Downtown* means south. *Crosstown* means east or west.

New York has an underground railway. It is called the subway. There are many different subway lines in New York. In Manhattan, most of them go north and south.

① All subway rides cost the same. ② A long ride does not cost more than a short one. First you buy a subway token. Then you pay for your ride with the token.



4 上の文を読んで次の問いに答えなさい。

- (1) 波線部㉞のイタリック体の3つの単語はマンハッタンではどういう意味をもちますか。  
ア) 町 イ) 方角 ウ) 坂
- (2) 下線部①の文の主語と動詞を指摘しなさい。  
主語( ) 動詞( )
- (3) 下線部②を訳しなさい。

5 次の問いに英語で答えなさい。

- (1) What does the word crosstown mean?

▶ crosstown はマンハッタンでは「東西に町を横切る」という意味で使われる。

- (2) What is the subway?
- (3) When you take the subway, what do you have to buy?
- (4) Why does a long ride cost little?

6 次の文章は英文の全訳です。空所を補って完成しなさい。

アップタウン、ダウントウン、クロスタウンというア( )はマンハッタンでは重要である。アップタウンはイ( )を意味する。ダウントウンはウ( )を意味する。クロスタウンはエ( )を意味する。  
 ニューヨークにはオ( )があり、それはサブウェイと呼ばれる。ニューヨークには多くのいろいろな地下鉄路線がある。マンハッタンでは、それらの大部分がカ( )に走っている。  
 地下鉄は全線キ( )である。長距離乗車は短距離乗車以上にお金がかかることはない。はじめに地下鉄の代用硬貨を買う。それからその代用硬貨でク( )。

最後の1/3に進みましょう。ニューヨークの地下鉄が紹介されたところで、次にバスとタクシーの事情はどうなっているのでしょうか。



There are buses on most avenues in Manhattan. There are also buses on the large crosstown streets. You can pay for your bus ride with a subway token or with coins. But you must have the ⑦ right coins. Bus drivers do not ① make change. ① All of the subways and most of the buses run twenty-four hours a day.

You can see taxis in New York very easily. They are usually yellow. Some drivers are women.

**7** 上の文を読んで次の問いに答えなさい。

- (1) 波線部⑦の語の意味は次のどれですか。  
ア) 右の      イ) ふつうの      ウ) きっかりの
- (2) 波線部①は次のどの意味ですか。  
ア) お金をくずす      イ) 交替する      ウ) 変化する
- (3) 下線部①を訳しなさい。

**8** 次の問いに英語で答えなさい。

- (1) Can you take a bus with a subway token?  
.....
- (2) Can you use coins when you take a bus?  
.....
- (3) Why must you have the right coins?  
.....
- (4) Can you see women taxi drivers?  
.....

**9** 次の文章は英文の全訳です。空所を補って完成しなさい。

マンハッタンでは大部分のアヴェニューにバスが走っている。ア( )にもバスは走っている。イ( )でもウ( )でもバスの乗車料金を払うことができる。しかしエ( )の場合はぴったり用意しなければならない。バスの運転手はお金をくずしてくれない。地下鉄全線とバスの大部分は1日24時間走っている。  
ニューヨークではタクシーは簡単にみつかる。タクシーはふつうオ( )である。カ( )もいる。

——テキストは十分理解できましたね。

では、仕上げとしてもう一回テキストを読んでから、まとめのトレーニングにかかりましょう。

10 もう一度テキストを読みなさい。

It is easy to find your way in Manhattan. Most streets go east and west. They do not have names. They have numbers. Most avenues go north and south. Some avenues have names and some have numbers.

Look at the map on the next page. Central Park is in the middle of Manhattan. Can you find Fifth Avenue on the east side of Central Park? Everything to the east of Fifth Avenue is called the *East Side*. Everything to the west is the *West Side*.

The words *uptown*, *downtown* and *crosstown* are important in Manhattan. *Uptown* means north. *Downtown* means south. *Crosstown* means east or west.

New York has an underground railway. It is called the subway. There are many different subway lines in New York. In Manhattan, most of them go north and south.

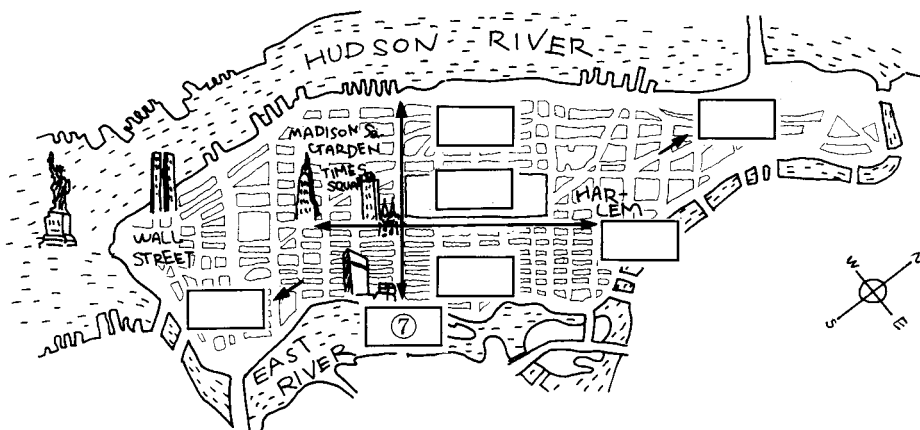
All subway rides cost the same. A long ride does not cost more than a short one. First you buy a subway token. Then you pay for your ride with the token.

There are buses on most avenues in Manhattan. There are also buses on the large crosstown streets. You can pay for your bus ride with a subway token or with coins. But you must have the right coins. Bus drivers do not make change. All of the subways and most of the buses run twenty-four hours a day.

You can see taxis in New York very easily. They are usually yellow. Some drivers are women.

———— まとめのトレーニング ———— ( /50点)

- (1) ストリートとアヴェニューの違いを日本語で説明しなさい。 (各6点×2=12点)  
 ストリート ( )  
 アヴェニュー ( )
- (2) 次の6つの地名を、下のマンハッタン島の正しい位置に示しなさい。 (各3点×6=18点)
- |                         |                |                 |
|-------------------------|----------------|-----------------|
| ① Central Park          | ② Fifth Avenue | ③ the West Side |
| ④ the East Side         | ⑤ uptown       | ⑥ downtown      |
| ⑦ crosstown (例として示しておく) |                |                 |



(3) 次の文はニューヨークの交通機関について書いたものです。本文の内容と合う文には○を、合わない文には×をつけなさい。 (各4点×5=20点)

- ア) You can take any subway line for the same fare. ▶ fare 「運賃」
- イ) In Manhattan, most of the subway lines go north and south, and there are buses not only on most avenues but also on the large crosstown streets.
- ウ) You can get change from bus drivers.
- エ) The subways in New York are run all night.
- オ) Women taxi drivers wear yellow uniforms.

いかがでしたか。これでニューヨークについて少しはわかりましたね。

道路、地理、方角を表すことば、地下鉄、バス、タクシーと一つ一つ事実が並べられていくので、とばして読むわけにはいきません。しっかりと読みとりたいたいものです。

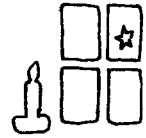
あすは英国の小説家ディケンズについての話です。楽しみにしててください。



— ろうそくの明かりはなぜ消えるのか —

## 第14日

## Dickens and his Cat



英国の有名な小説家チャールズ・ディケンズは、「オリヴァー・ツイスト」「クリスマス・キャロル」など数多くのすばらしい小説を書きました。ディケンズはどういう人だったのでしょうか。ここに彼の一面を知ることのできるひとつのエピソードがあります。彼は19世紀の人で、当時は電気はなく、明かりはろうそくでした。

■ 意味をとらえながら今日のテキストを読みなさい。

Charles Dickens, the famous English **novelist**, wrote a great many books. He had a cat of which he was very fond. She was a fine **Persian** cat with **pure white fur**.

One evening, as he **was absorbed in** reading one of his favorite books by a candle-light, the candle suddenly went out.

He was surprised, but took a match, struck it, and lighted the candle again, and once more sat down to read.

You can imagine his **astonishment** when he again found himself in **complete** darkness.

He looked around the room, lighted the candle again, and began to read once more. After a while he stopped and looked up.

He saw that his cat was trying to put out the light with her **paw**.

The cat's **intentions** were quite clear to him—she wanted him to stop reading and play with her for a while.

Of course he did this, and **besides** he gave her some milk.

The cat was quite **contented**. She went over, and **curled herself** into a ball on the sofa to take a nap.

Then Dickens continued to read, and this time **Pussy** did not interrupt him again.

**novelist** [návəlist] *n.*

小説家

**Persian** [pé:ʃən] *a.*

ペルシャの

**pure white fur**

純白の柔らかい毛

**be absorbed** [əbsɔ:ɪbd]

**in** ~ ~に熱中している

**astonishment**

[əstəniʃmənt] *n.* 驚き

**complete** [kəmplɪ:t] *a.*

全くの、完全な

**paw** [pɔ:] *n.* 動物の足

**intention** [inténʃən] *n.*

意図、意志

**besides** [bisáidz] *ad.*

さらにその上

**contented** [kənténtid]

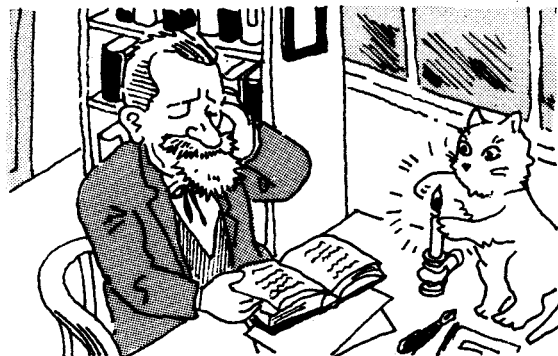
*a.* 満足した

**curl** [kɜ:rl] **oneself**

からだを丸める

**Pussy** [púsi] *n.*

ネコちゃん



大意はつかめましたか。登場するのはディケンズと彼のネコだけで、静かな彼の部屋という場面が想像できますね。では内容についてチェックしてみましょう。

**CHECK** 答えは下

次の問いに答えなさい。

check

- (1) ディケンズはどこ国の小説家ですか。
- ア) アメリカ イ) イギリス ウ) フランス
- (2) 明かりが消えたとき、ディケンズは何をしていましたか。
- ア) 小説を書いていた イ) 読書をしていた ウ) ネコと遊んでいた
- (3) 二度目に明かりが消えたとき、彼はどうしましたか。
- ア) また明かりをつけて読書続けた イ) 小説を書くのをやめてネコといっしょに寝た  
ウ) ネコにミルクをあげた
- (4) なぜ明かりが消えたのか、その理由を簡単に書きなさい。
- ( )
- (5) ネコはディケンズに何をしてもらいたかったのですか。
- ア) ミルクをもらいたかった イ) いっしょに遊んでもらいたかった  
ウ) ソファに寝かしてもらいたかった
- (6) この話はディケンズがどういう人だといっているのですか。
- ア) 読書家 イ) ネコの好きな人 ウ) 思いやりのある人

何問できましたか。

大体のストーリーだけは何とかつかみとりたいところです。では次にもっと詳しく読んでいくことにしましょう。

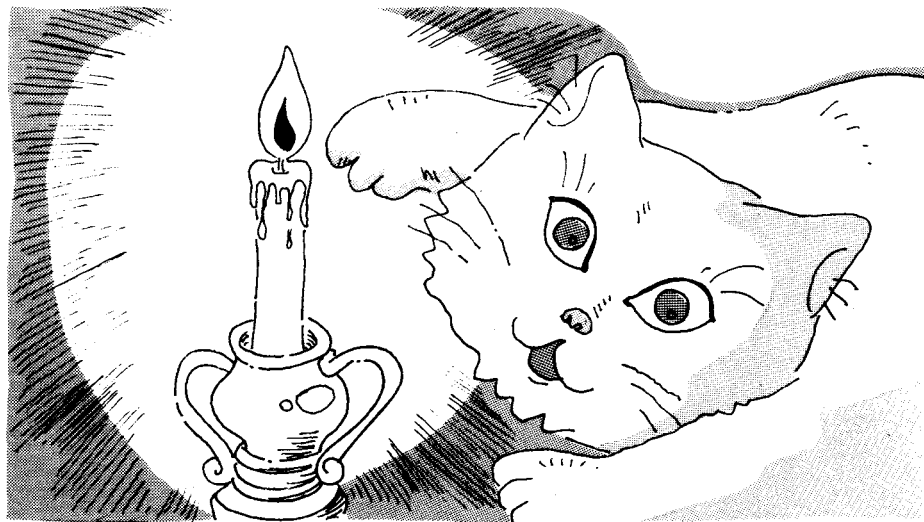
6

◆ 読解のヒント ◆

どんな人物が登場して、何をし、何を考えたか。それらを味わうことが“物語”を読むコツであり、楽しさである。

◆ 出典紹介 ◆

“Eight Famous Stories” (日栄社 / CHOICE READING SERIES 3)より。



CHECK の解答 (1) イ (2) イ (3) ア (4) ネコが消したから (5) イ (6) ウ

トレーニング

最初の1/3を読みましょう。この話の状況説明の部分です。ディケンズという人、ネコ、ろうそくに気をつけておきたいところです。

Charles Dickens, the famous English novelist, wrote a great many books. ① He had a cat of which he was very fond. ② She was a fine Persian cat with pure white fur.

One evening, ⑦ as he was absorbed in reading one of his favorite books by a candle-light, ③ the candle suddenly went out.



1 上の文を読んで次の問いに答えなさい。

(1) 下線部①を2つの短い文に書きかえなさい。

.....  
 .....

▶ 関係代名詞 which を使わないで書く。

(2) 下線部②を訳しなさい。

.....

(3) 波線部⑦は次のどれに書きかえられますか。

ア) because      イ) though      ウ) when

(4) 下線部③を訳しなさい。

.....

2 次の問いに英語で答えなさい。

(1) Did Dickens write a lot of books?

.....

(2) Did he like his cat very much?

.....

(3) What was he reading one evening?

.....

(4) What happened while he was reading?

.....

3 次の文章は英文の全訳です。空所を補って完成しなさい。

ア( )であるチャールズ・ディケンズはイ( )本を書いた。彼はネコを飼っていて、彼はそのネコが大好きであった。彼女は純白の柔らかな毛をした立派なペルシャネコであった。  
 ある晩、彼がウ( )で彼のお気に入りの本のひとつをエ( )、ろうそくがオ( )消えた。





最後の 1 / 3 を読みましょう。ディケンズはネコの気持ちをわかってあげたでしょうか。また、読書は続けることができたでしょうか。

⑦ The cat's intentions were quite clear to him—she wanted him to stop reading and play with her for a while.

Of course he ① did this, and besides he gave her some milk.

The cat was quite contented. She went over, and ① curled herself into a ball on the sofa to take a nap.

Then Dickens continued to read, and ② this time Pussy did not interrupt him again.

**7** 上の文を読んで次の問いに答えなさい。

- (1) 波線部⑦を具体的に言い表している英文を書き出さない。

.....  
 .....

- (2) 波線部①を具体的に英語で書きなさい。

.....  
 .....

- (3) 下線部①を訳しなさい。

.....  
 .....

- (4) 下線部②を訳しなさい。

.....  
 .....

**8** 次の問いに英語で答えなさい。

- (1) What did the cat want to say?

.....  
 .....

▶ 直接話法の形で答えてみよう。

- (2) Did he understand the cat at once?

.....  
 .....

- (3) Did the cat put out the light again after she was given some milk?

.....  
 .....

- (4) Where did the cat take a nap after she was contented?

.....  
 .....

**9** 次の文章は英文の全訳です。空所を補って完成しなさい。

ネコの意図は彼にとってア( )——彼女は彼に読書をやめて  
 イ( )。  
 もちろん彼は望みどおりにしてやり、ウ( )彼女にミルクを与えた。  
 ネコはエ( ),むこうの方へ行って、ソファの上でボールのようにから  
 だを丸めていねむりを始めた。  
 それからディケンズは読書をオ( ),そして今度はネコちゃんは二度と彼のじゃまをするこ  
 とはなかった。

テキストは十分理解できましたね。

では最後にもう一回テキストを読んでから、まとめのトレーニングにかかりましょう。

10 もう一度テキストを読みなさい。

Charles Dickens, the famous English novelist, wrote a great many books. He had a cat of which he was very fond. She was a fine Persian cat with pure white fur.

One evening, as he was absorbed in reading one of his favorite books by a candle-light, the candle suddenly went out.

He was surprised, but took a match, struck it, and lighted the candle again, and once more sat down to read.

You can imagine his astonishment when he again found himself in complete darkness.

He looked around the room, lighted the candle again, and began to read once more. After a while he stopped and looked up.

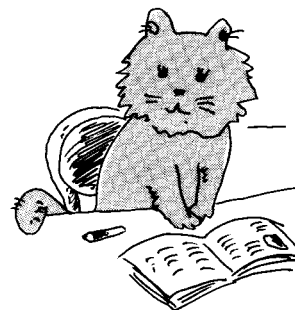
He saw that his cat was trying to put out the light with her paw.

The cat's intentions were quite clear to him—she wanted him to stop reading and play with her for a while.

Of course he did this, and besides he gave her some milk.

The cat was quite contented. She went over, and curled herself into a ball on the sofa to take a nap.

Then Dickens continued to read, and this time Pussy did not interrupt him again.



==== まとめのトレーニング ==== ( /50点)

- (1) 本文の内容の要約と同じになるように、空所に適する語を入れなさい。 (各4点×8=32点)
- One evening, when he was reading a book by a ア( ), the candle  
イ( ) went out. He lighted it and began to read again. To his great ウ( )  
( ), the candle went out again. He lighted it again and began to read once  
more. After a while, at last he knew that the エ( ) put out the light.  
He オ( ) with her for a カ( ) and gave her some キ( ).  
The cat was so contented that she took a ク( ) on the sofa.
- (2) 次の各文が本文の内容と合えば○を、合わなければ×をつけなさい。 (各3点×6=18点)
- ア) Dickens had a fine Persian cat which he liked very much.  
イ) At first he didn't know that the cat interrupted his reading.  
ウ) He got angry when he saw the cat putting out the light.  
エ) He not only played with the cat for a while but also gave her some milk.  
オ) He couldn't go on with his reading after all.  
カ) Dickens was a man who was cruel to animals.

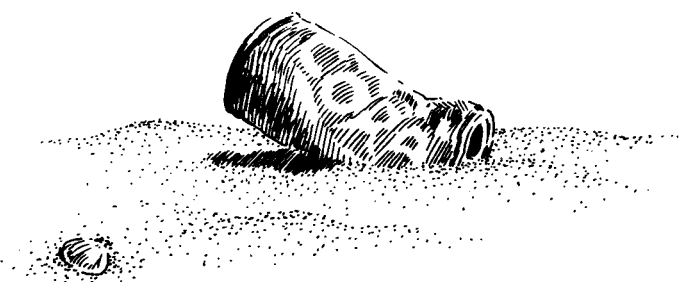
きょうの話はいかがでしたか。

ひとりぼっちでいるネコの気持ちと、すぐそれに気づいてあげられるディケンズの心のやさしさが伝わってきましたね。

これで4つの英文を読んだわけですが、一回目で大意をとり、二回目で詳しく読んでみる、という読み方の訓練はたいへん効果的なのです。ぜひ続けてください。

ではまた来月号でお会いしましょう。

MEMO



# 今月の単語40

## 4月の単語 人間に関することば

今月は、私たち自身に関わる単語40語を覚えましょう。  
まず、人々の様々な性格を表現する単語を20語  
それから、体や健康についての単語を10語  
そして最後に、人生にまつわる単語を10語——  
やや抽象的なことばが多いようですが  
重要な単語ばかりなので、覚えておきましょう。

### 今月の単語40の使い方

#### 1. 単語を覚える

単語を声に出しながら3回ずつ書いて覚えましょう。もちろん品詞、意味も正確に覚えること。

#### 2. 例文の中で覚える

単語そのものだけでなく、例文を読んでもらうことで、単語の使い方を覚えましょう。

#### 3. 単語CHECKで覚える

今月の単語40語を覚えたかどうかのチェックです。40語すべての意味が言えるようになるまでやってみましょう。

- ★ 「今月の単語」は、高等学校英語Iの教科書10種の新出単語を調査し、4種以上の教科書に共通して挙げられている単語を集めたものです。
- ★ 1か月に40語、テーマを決めてセレクトしています。さらに10語ずつの小グループに分けてあります。

# Character その1

十人十色といわれる人の性格をうんぬんするときに  
使うことばのうち プラス・イメージのもの

次の単語を声に出しながら3回書いて覚えましょう。

- **tender** [téndər] 形 やさしい, 思いやりのある ▶ 愛情・思いやりのこもったやさしさをいう。
- **clever** [klévər] 形 利口な, 賢い ▶ 抜け目のなさや器用さを強調する。
- **brave** [breiv] 形 勇敢な, 勇ましい ▶ 不屈さを言いたいときに使う。
- **curious** [kjú(:)əriəs] 形 好奇心の強い, 奇妙な ▶ 「せんさく好き」の意味もある。
- **cheerful** [tʃiərfəl] 形 陽気な, 元気のよい ▶ cheerだと「かつさい」「声援する」という意味。
- **serious** [sí(:)əriəs] 形 まじめな, 厳粛な ▶ 「真剣な」「重大な」という意味もある。
- **honest** [ánist] 形 正直な, 誠実な ▶ 名詞になると honesty だ。
- **diligent** [dílidʒənt] 形 勤勉な, 努力している ▶ 同義語に industrious がある。
- **noble** [nóubl] 形 高貴な, 気高い ▶ nobleman で「華族, 貴族」
- **sympathetic** [simpəθétik] 形 同情的な, 思いやりのある ▶ アクセントの位置に注意。

◆ 太字に注意しながら英文を訳しなさい。

- (1) She is very **tender** toward her children.
- (2) The boy was so **clever** that he could solve the problem.
- (3) She was as **brave** as her brother.
- (4) He is too **curious** about others' business. ▶ others' business 「他人のこと」
- (5) My sister is always **cheerful**.
- (6) After a few jokes, his speech became **serious**.
- (7) Advertisements can be useful if they are **honest**. ▶ advertisement 「広告」
- (8) My father is **diligent** in his work.
- (9) He tried to be a **noble** man.
- (10) She was **sympathetic** when I had a cold.

○ 答え ○

(1) 彼女は子どもたちに対してとてもやさしい。(2) その少年はとても利口だったので、その問題を解くことができた。(3) 彼女は兄と同様に勇敢だった。(4) 彼は他人のことをせんさくしすぎる。(5) 私の姉はいつも陽気だ。(6) 少し冗談を言ってから、彼の話はまじめになった。(7) 広告はそれに偽りがなければ役立つものである。(8) 私の父は自分の仕事に精励している。(9) 彼は立派な人間になろうとした。(10) 私がかぜをひいていたとき、彼女は同情してくれた。

## Character その2

良い性格があるならば 悪い性格もある  
 今度はマイナス・イメージをもつもの

次の単語を声に出しながら3回書いて覚えましょう。

- **cruel** [krú(:)əl] 形 残酷な, 無慈悲な

---

- **foolish** [fú:liʃ] 形 思慮のない, 分別のない ▶ 愚かでくだらない意味を表す。

---

- **timid** [tímid] 形 臆病な, 内気な

---

- **indifferent** [indífərənt] 形 無関心な, 冷淡な ▶ indifferent to ~ 「～に無関心な」

---

- **nervous** [nó:rvəs] 形 神経質な, いらだちやすい ▶ nerve だと「神経」という意味。

---

- **cunning** [káníŋ] 形 悪賢い, ずるい

---

- **dishonest** [disáníst] 形 不正直な, 信用できない ▶ honest に dis- (否定を表す)をつけた形。

---

- **idle** [áidl] 形 怠惰な, 不精な ▶ 「アイドル歌手」の「アイドル」は idol (偶像)

---

- **savage** [sævidʒ] 形 野蛮な, 残忍な ▶ 「野性の」という意味もある。

---

- **selfish** [sélfiʃ] 形 自分本位の, 利己的な ▶ self (自己, 自分自身)に -ish がついた形。

---

◆ 太字に注意しながら英文を訳しなさい。

- (1) The **cruel** father beat his children.
- (2) His story is **foolish**.
- (3) My brother is **timid**.
- (4) He is **indifferent** to her.
- (5) Adams was very **nervous** before the performance.
- (6) She is as **cunning** as a fox. ▶ fox(キツネ)はとてもずる賢いことのとえ。
- (7) I think that he is a **dishonest** man.
- (8) The tongue of **idle** people is never **idle**.
- (9) They made a **savage** attack against the enemy.
- (10) It is **selfish** of you to say so.

○ 答え ○

- (1) その残酷な父親は子どもたちをぶった。(2) 彼の話はばかげている。(3) 私の弟は臆病だ。(4) 彼は彼女には無関心だ。
- (5) アダムズは演奏前にとってもいらだっていた。(6) 彼女はキツネのようにずるい[非常にずるい]。
- (7) 彼は不正直な男だと私は思う。(8) <ことわざ>怠け者の舌は少しも休むことがない。(9) 彼らは敵に対して猛攻をくわえた。(10) そのようなことを言うなんてあなたはわがままだ。



# Body & Health

単語を覚えるときには頭だけでなく  
体も使って覚えよう

次の単語を声に出しながら3回書いて覚えましょう。

- **physical** [ˈfɪzɪkəl] 形 身体(肉体)の ▶ これに対して「精神の」というときは mental  
.....
- **breath** [breθ] 名 息, 呼吸 ▶ 「呼吸する」という動詞は語尾に-eをつけて breathe [ˈbriːð]  
.....
- **muscle** [ˈmʌsl] 名 筋肉, 筋力 ▶ 発音に注意。cは発音しない。  
.....
- **bone** [bəʊn] 名 骨  
.....
- **brain** [breɪn] 名 脳  
.....
- **stomach** [ˈstʌmək] 名 胃, 腹 ▶ a full stomachで「満腹」, an empty stomachで「空腹」  
.....
- **pale** [peɪl] 形 血の気のない, 青ざめた  
.....
- **alive** [əˈlaɪv] 形 生きて, いきいきした ▶ 反意語は dead (死んだ, 生命を失った)だ。  
.....
- **injure** [ˈɪndʒər] 動 痛める, 傷つける ▶ 形容詞は語尾に-dをつけて injured  
.....
- **headache** [ˈhedəɪk] 名 頭痛 ▶ head (頭)に ache (痛み)がついて headache (頭痛)  
.....

◆ 太字に注意しながら英文を訳しなさい。

- (1) Constant **physical** training is necessary to keep our health.
- (2) It was so cold yesterday that you could see your **breath**.
- (3) Women's **muscles** are not developed like men's. ▶ develop 「発達させる」
- (4) I ate fish with many **bones**.
- (5) An elephant's **brain** is very small.
- (6) He felt sick to his **stomach**.
- (7) She turned **pale** quickly at the terrible accident.
- (8) I didn't know he was still **alive** then.
- (9) He **injured** his leg.
- (10) I had a **headache** after supper.

○ 答え ○

(1) 健康維持には定期的に体を動かすトレーニングが必要である。(2) きのうはとても寒かったので、息が(白く)見えた。(3) 女性の筋肉は男性のように発達していない。(4) 私は骨が多い魚を食べた。(5) 象の脳はとても小さい。(6) 彼は胃がむかむかするのを感じた。(7) 彼女はそのひどい事故を見てみるみる青ざめた。(8) 私は、その時彼がまだ生きているとは知らなかった。(9) 彼は足にけがをした。(10) 私は夕食の後に頭痛がした。

# Life

人生は山あり谷あり  
覚えていて損はないことば

次の単語を声に出しながら3回書いて覚えましょう。

- **survive** [sərváiv] 動 長生きする, 生き延びる ▶ この名詞が survival だ。
- **vital** [váitəl] 形 生命の, 活気のある ▶ 名詞は vitality で「生命力, 活力」という意味。
- **mortal** [mó:rtəl] 形 死の, 死すべき運命の
- **death** [deθ] 名 死, 死ぬこと
- **fortune** [fó:rtʌn] 名 運, 運命 ▶ ほかに「財産, 大金」といった意味がある。
- **destiny** [déstəni] 名 運命, 宿命 ▶ Destiny と大文字で始めると「運命の神」という意味。
- **marry** [mæri] 動 ～と結婚する ▶ get married to ～も「～と結婚する」
- **marriage** [mæridʒ] 名 結婚, 婚姻
- **divorce** [divó:rs] 名 離婚, 絶縁 ▶ 動詞で「～と離婚する」という意味もある。
- **experience** [ikspi(:)əriəns] 名 経験, 体験 ▶ 動詞として使って「体験する」

◆ 太字に注意しながら英文を訳しなさい。

- (1) All his family **survived** the war.
- (2) That girl is **vital** and charming.
- (3) All men are **mortal**.
- (4) The writer became famous after his **death**.
- (5) I was not late for the examination by good **fortune**.
- (6) **Destiny** sometimes plays strange tricks on poor human beings. ▶ play ここでは「しかける」
- (7) He will **marry** my sister soon.
- (8) She objected to the arranged **marriage**. ▶ arrange「取り決める, 整える」
- (9) The rate of **divorce** is increasing in Japan. ▶ increase「増加する」
- (10) We had a terrible **experience** in that country.

○ 答え ○

- (1) 彼の家族は戦争後まで生き残った。(2) あの少女は活気があり魅力的である。(3) 人はすべて死すべきものである。(4) その作家は死後有名になった。(5) 幸運にも私はその試験に遅刻せずにすんだ。(6) 運命はときどき哀れな人間に不思議ないたづらをする。(7) 彼はもうじき私の姉と結婚する。(8) 彼女はその見合い結婚に反対した。(9) 日本では離婚率が増加している。(10) 私たちはその国でとてもひどい経験をした。

## 4月の単語チェック

今月の単語「人間に関することば」40語は、ちょっと難しかったかもしれませんね。

でも、どれも大事な単語ばかりだから、今から覚えておきましょう。

さて、下は今月の単語40語をアルファベット順に並べたものです。意味が答えられたらチェック欄□に☑印をつけよう。☑印がつかなかったものは、前のページで意味を調べて、2回目、3回目…とチャレンジしましょう。

	check 1	check 2	check 3	check 4		check 1	check 2	check 3	check 4
<b>alive</b>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<b>humble</b>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>bone</b>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<b>idle</b>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>brain</b>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<b>indifferent</b>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>brave</b>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<b>injure</b>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>breath</b>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<b>marriage</b>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>cheerful</b>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<b>marry</b>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>clever</b>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<b>mortal</b>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>cruel</b>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<b>muscle</b>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>cunning</b>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<b>nervous</b>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>curious</b>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<b>noble</b>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>death</b>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<b>pale</b>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>destiny</b>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<b>physical</b>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>diligent</b>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<b>savage</b>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>dishonest</b>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<b>selfish</b>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>divorce</b>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<b>serious</b>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>experience</b>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<b>stomach</b>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>foolish</b>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<b>survive</b>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>fortune</b>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<b>sympathetic</b>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>headache</b>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<b>tender</b>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>honest</b>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<b>vital</b>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

何回目で満点になるかな？

1回目	2回目	3回目	4回目
/40	/40	/40	/40

**MEMO**

文法編執筆者紹介

玉光春子（たまみつ はるこ）

静岡県富士宮市在住。

長年、中学1年生～高校3年生に英語を教える。

また、在日米国人に日本語を指導。2児の母。

著書『だから英語はきれいです』『やっぱり英語はきれいです』（いずれも静岡新聞社）

---

## 後記

4月号の勉強はいかがでしたか。高校英語の手ごたえを感じる  
ことができたでしょうか。

高校生になって、やりたいことがたくさんあることと思います。  
時間も十分にあります。なるべくいろいろな分野の事柄に  
挑戦してみてください。運動部にはいる、古典文学や外国文学  
を読んでみる、海外ホームステイをする、遺跡めぐりの旅に出  
る、パソコンソフトを研究してみる、などなど選択肢は無限と  
いえます。ただ一つ注意してほしいことは、必ず自分なりの目  
標をもって挑戦することです。何年後にはあぁなりたい、だか  
ら今これをやってみよう、という姿勢がだいじなのです。いち  
ばん感受性の豊かな高校時代に、多くの素晴らしい人やものに  
出会ってください。

---

教育社

TRAINING PAPER

**DAILY PROGRAM**

高校1年／英語